

日本医師会が考える女性医師勤務環境整備

日本医師会常任理事 笠井 英夫





CONTENTS

- I. 女性医師の現状と問題点
- II. 必要とされる女性医師勤務支援
- III. 仕事を継続していくための環境整備
に対する各種助成金について
- IV. 日本医師会女性医師支援センター事業
- V. 参考（臨床研修医に関するアンケート調査）

I . 女性医師の現状と問題点

I -1) 女性医師数の推移

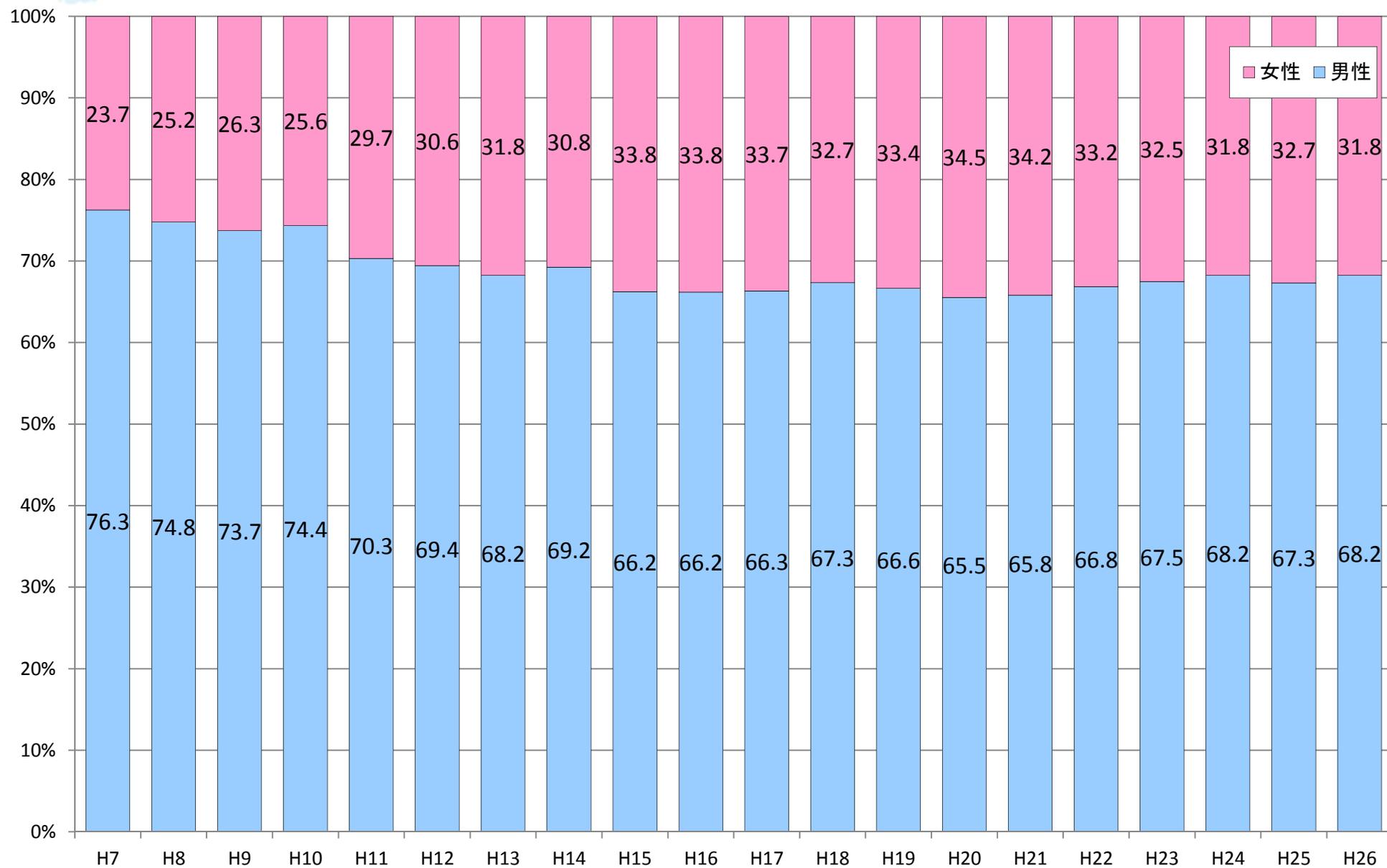
I -2) 女性医師の活動率

I -3) 出産・育児休業の現状と問題点

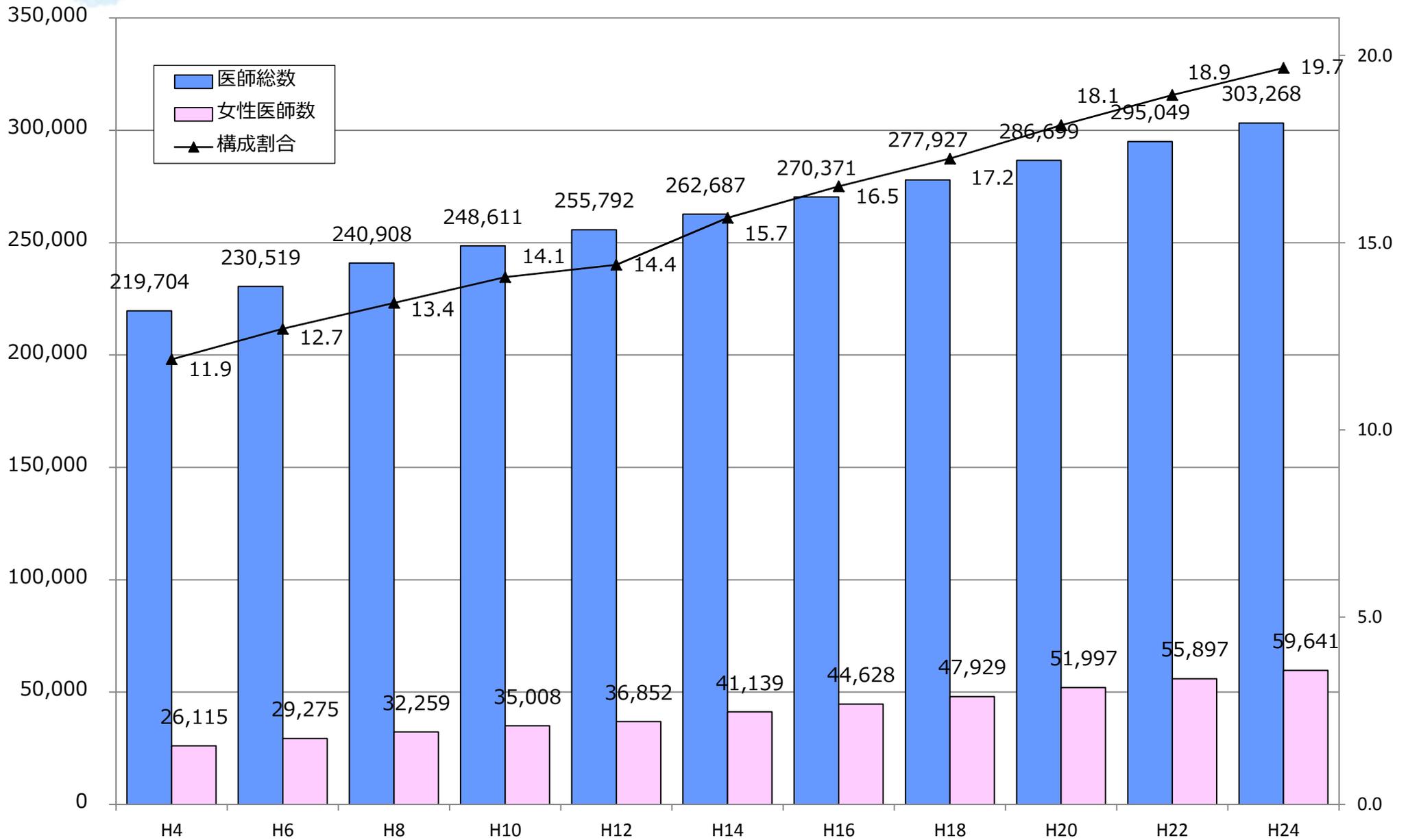
I -4) 保育・託児施設の現状と問題点

I - 1) 女性医師数の推移

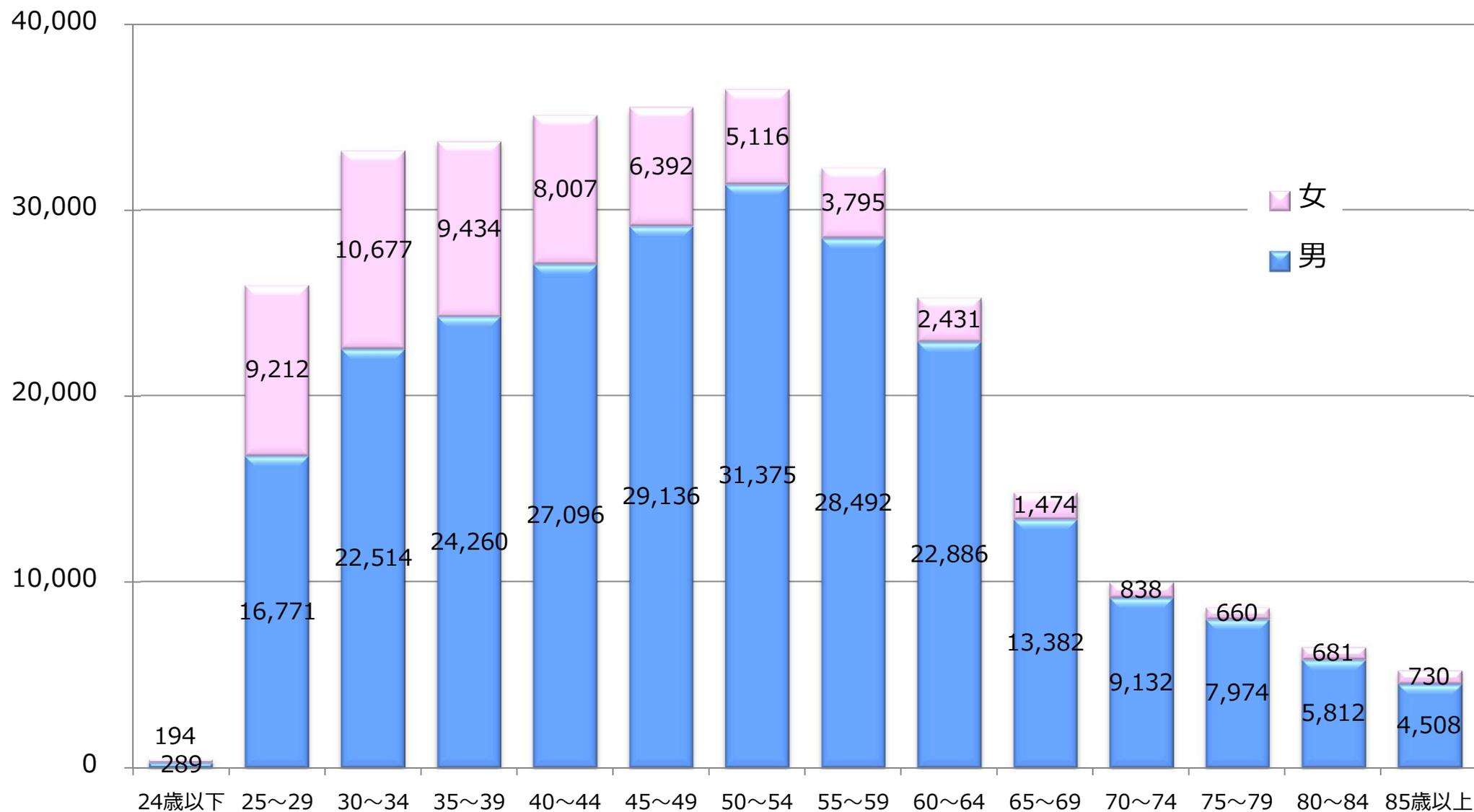
医師国家試験合格者の男女比



女性医師数の推移

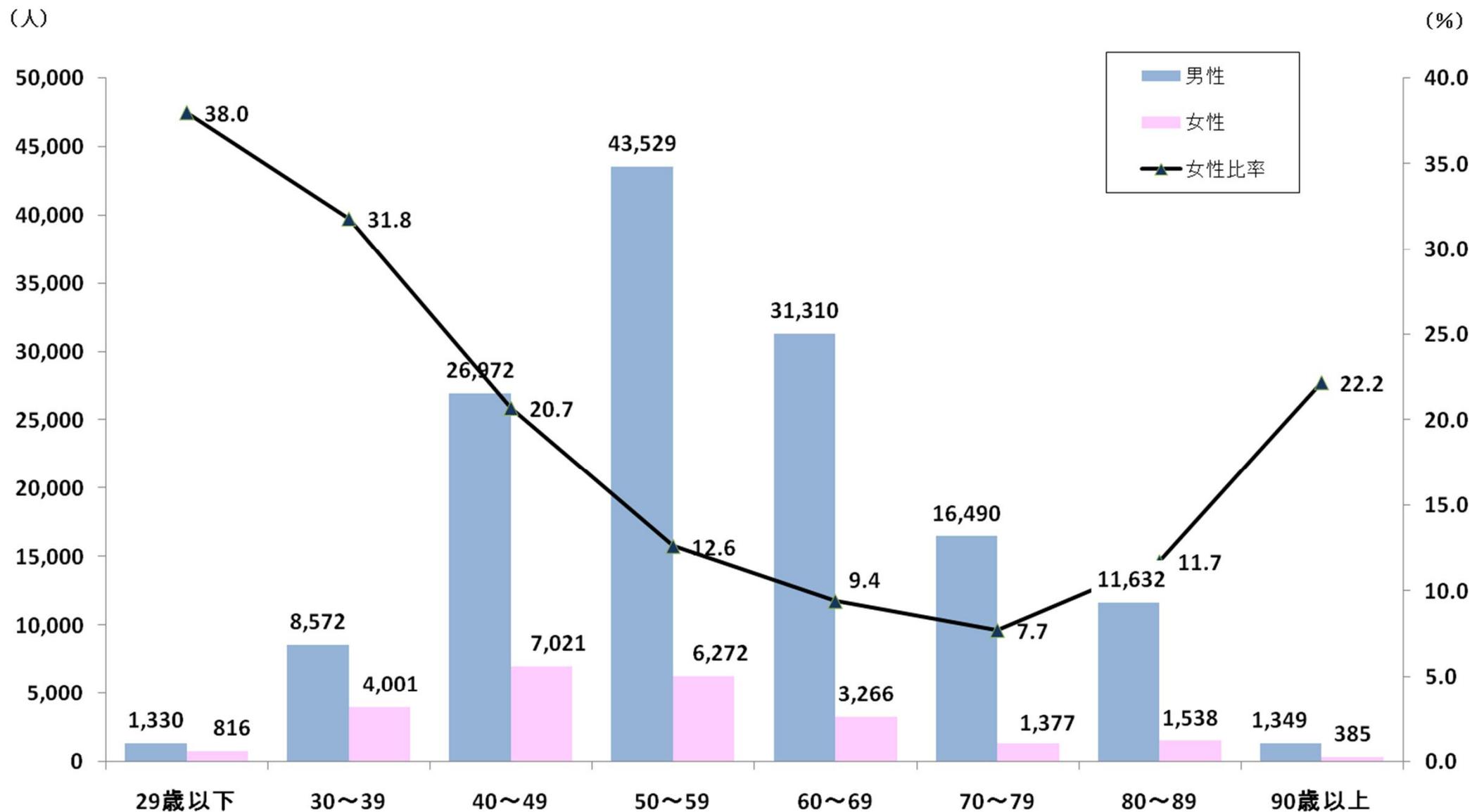


年齢階級別医師数の男女比

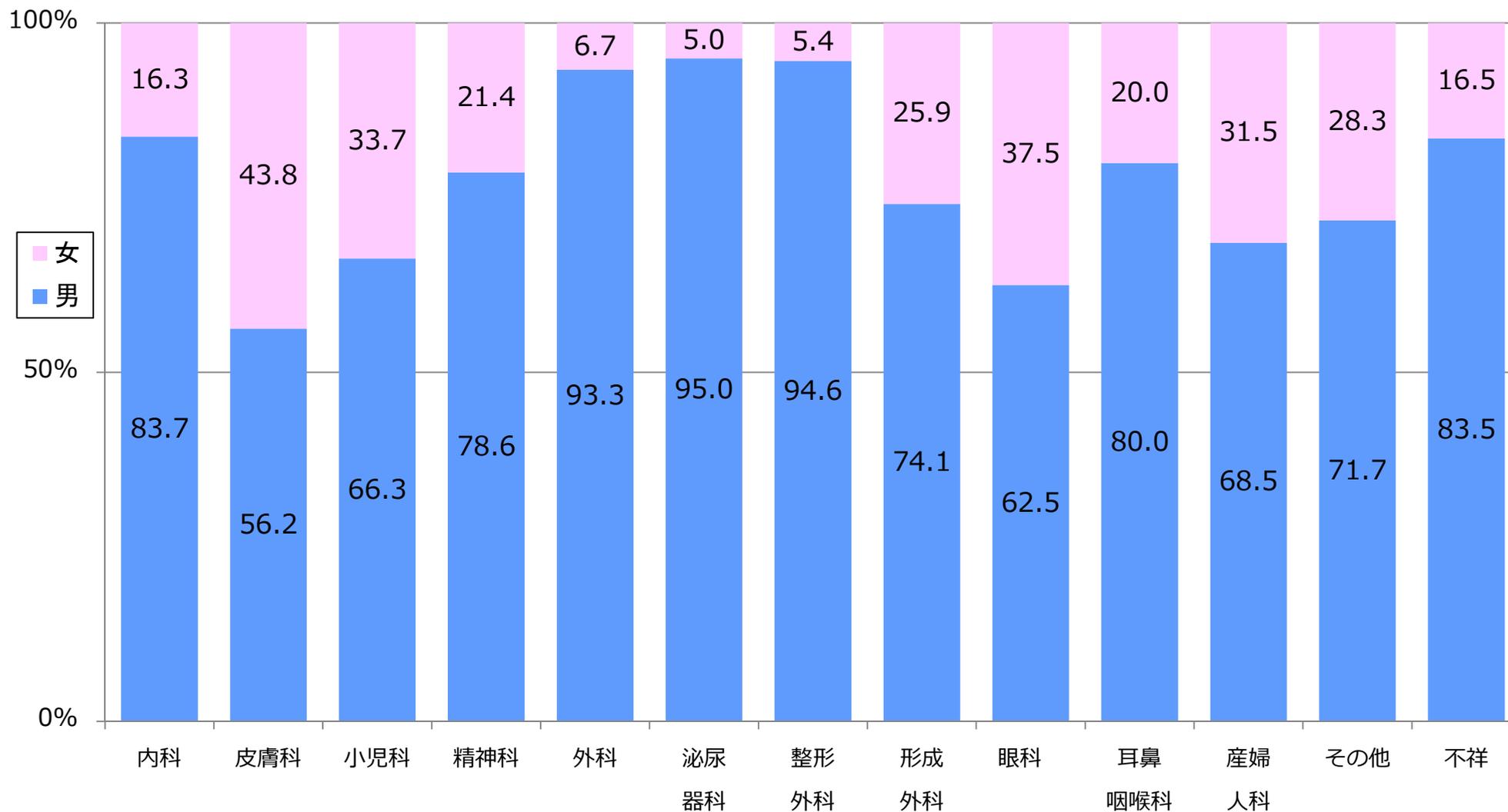


厚労省「医師・歯科医師・薬剤師調査」平成24年

日本医師会会員 年齢別男女構成



診療科別男女別 医師割合

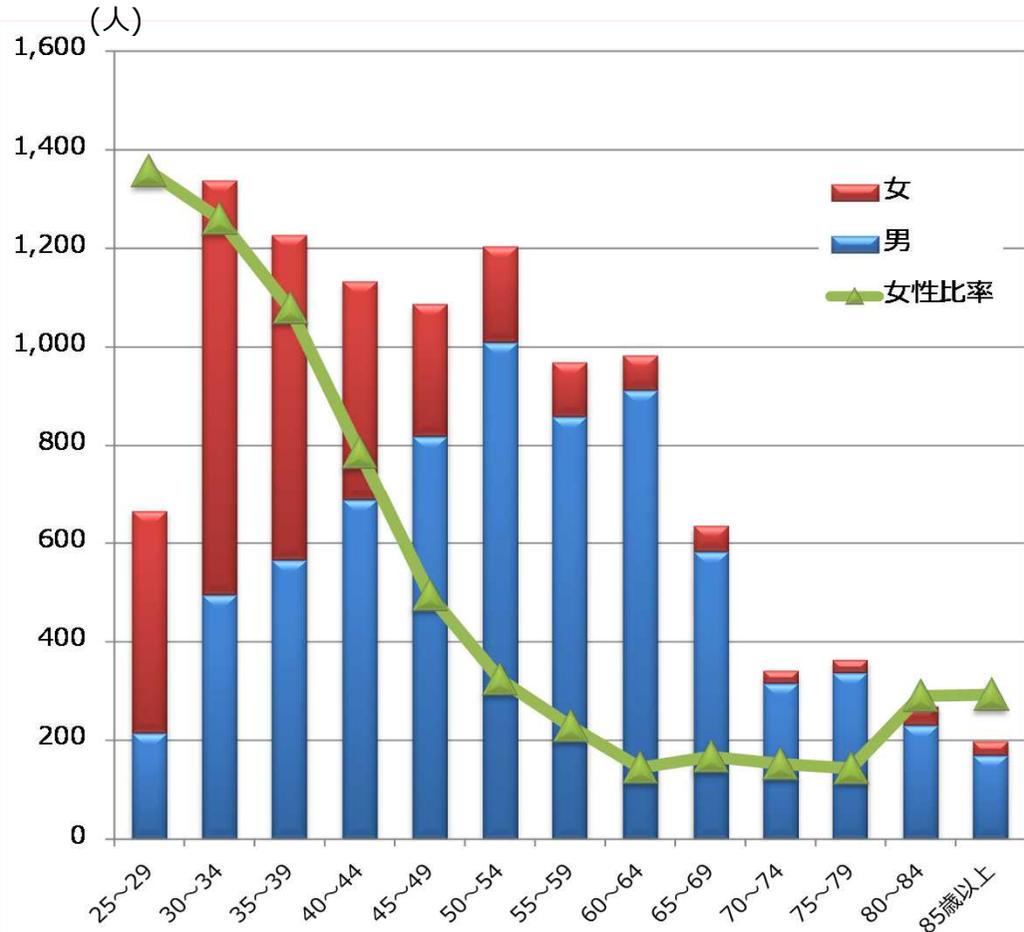


「医師・歯科医師・薬剤師調査」平成24年 ～主たる診療科より

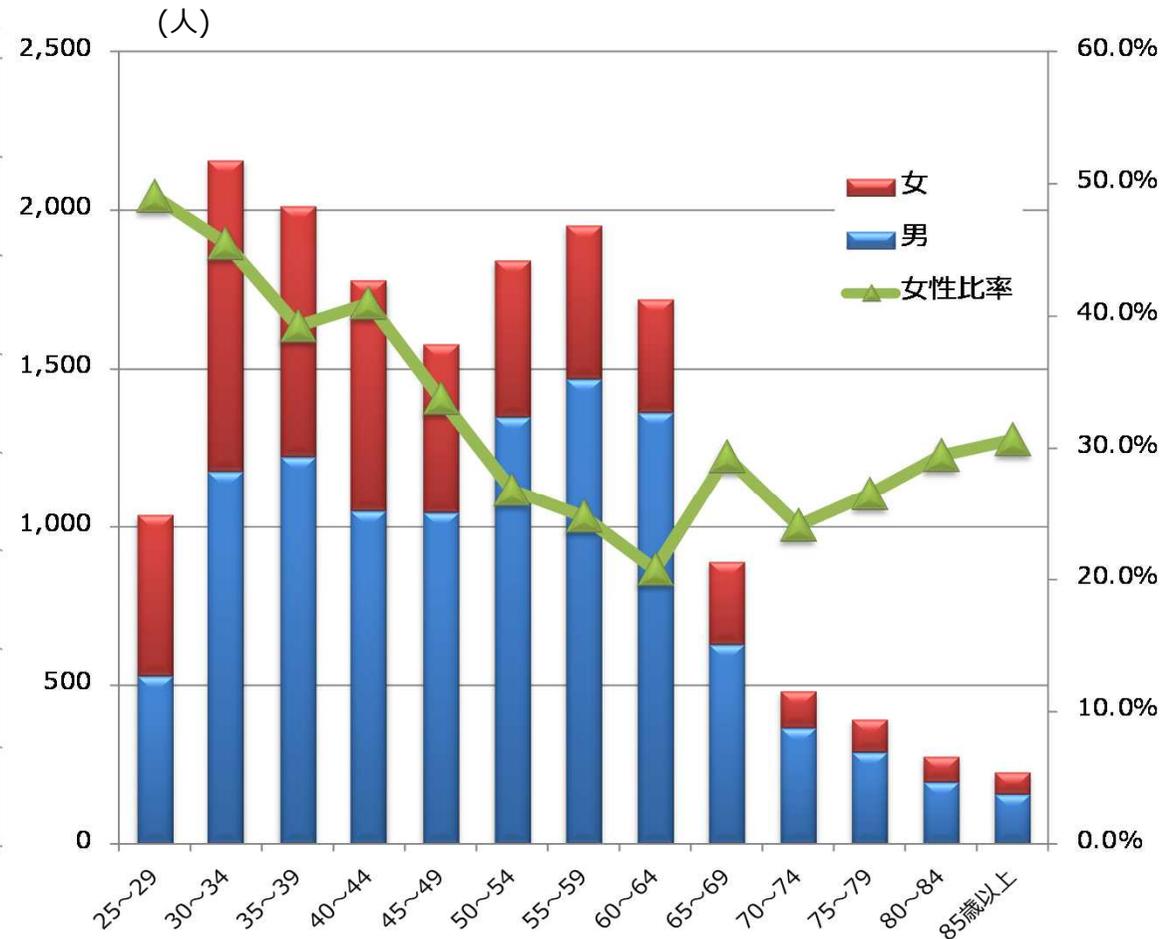
※内科（呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科、糖尿病内科、血液内科、感染症内科含む）、皮膚科（アレルギー科含む）、精神科（心療内科含む）、外科（呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、気管食道外科、消化器外科、肛門外科、脳神経外科、小児外科含む）、整形外科（リウマチ科含む）、形成外科（美容外科含む）、産婦人科（産科、婦人科含む）、その他（リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科等）

年齢階級別小児科・産婦人科医数の男女比

産婦人科

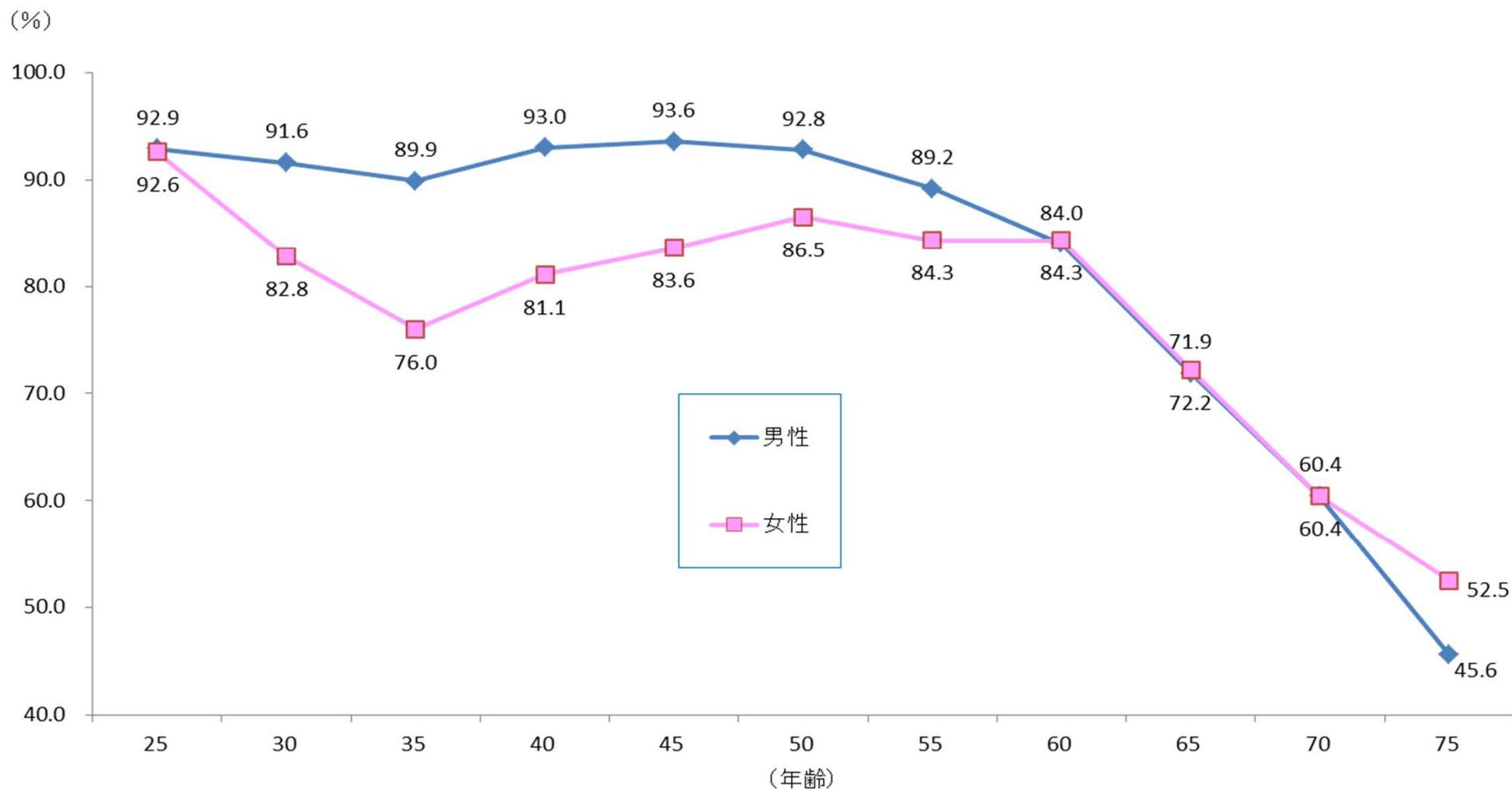


小児科



I -2) 女性医師の活動率

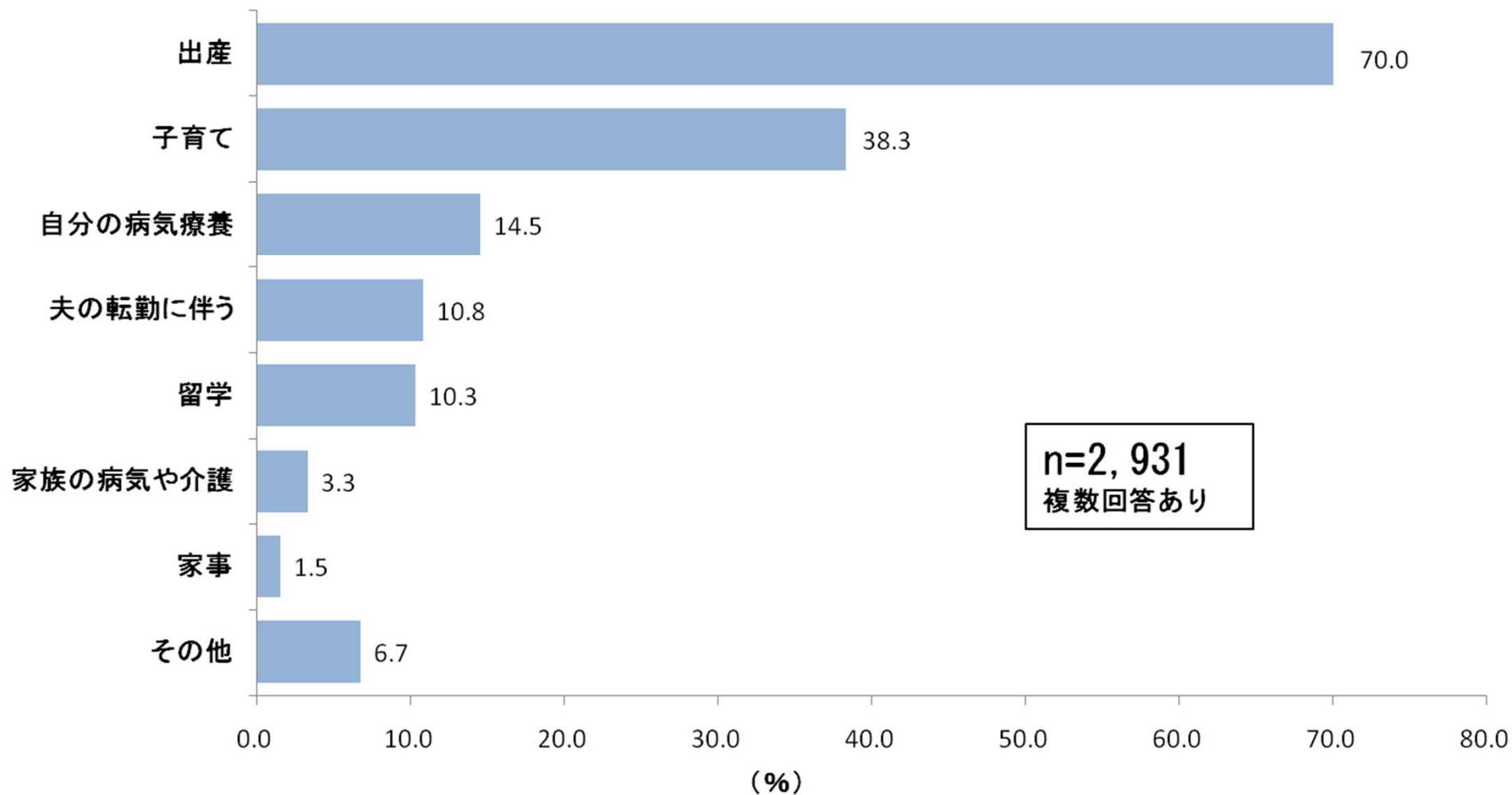
医師の就業率



※医師が25歳で卒業すると仮定した場合の就業率

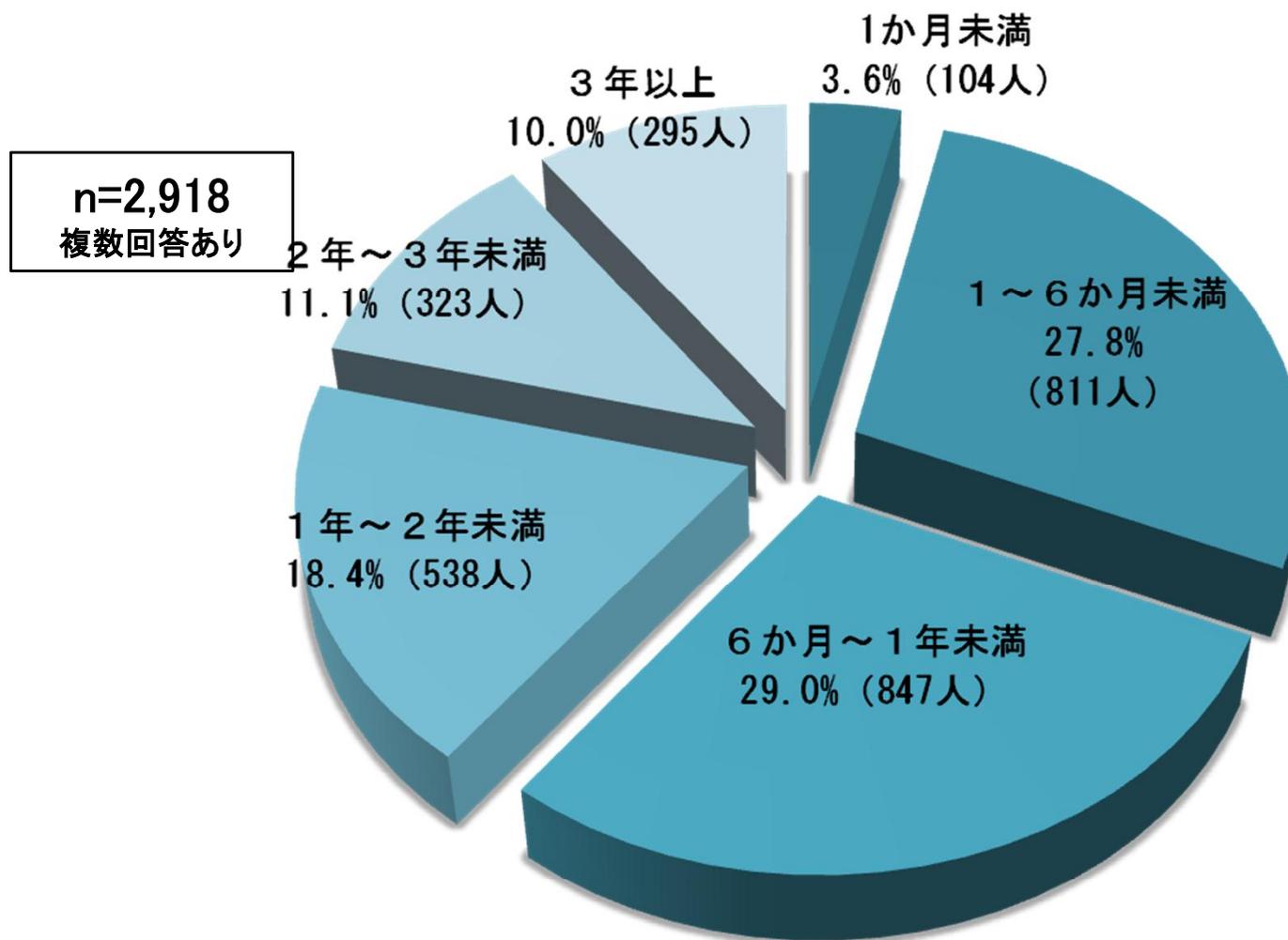
「日本の医師受給の実証的調査研究」(主任研究者 長谷川敏彦)

女性医師の休職・離職理由



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

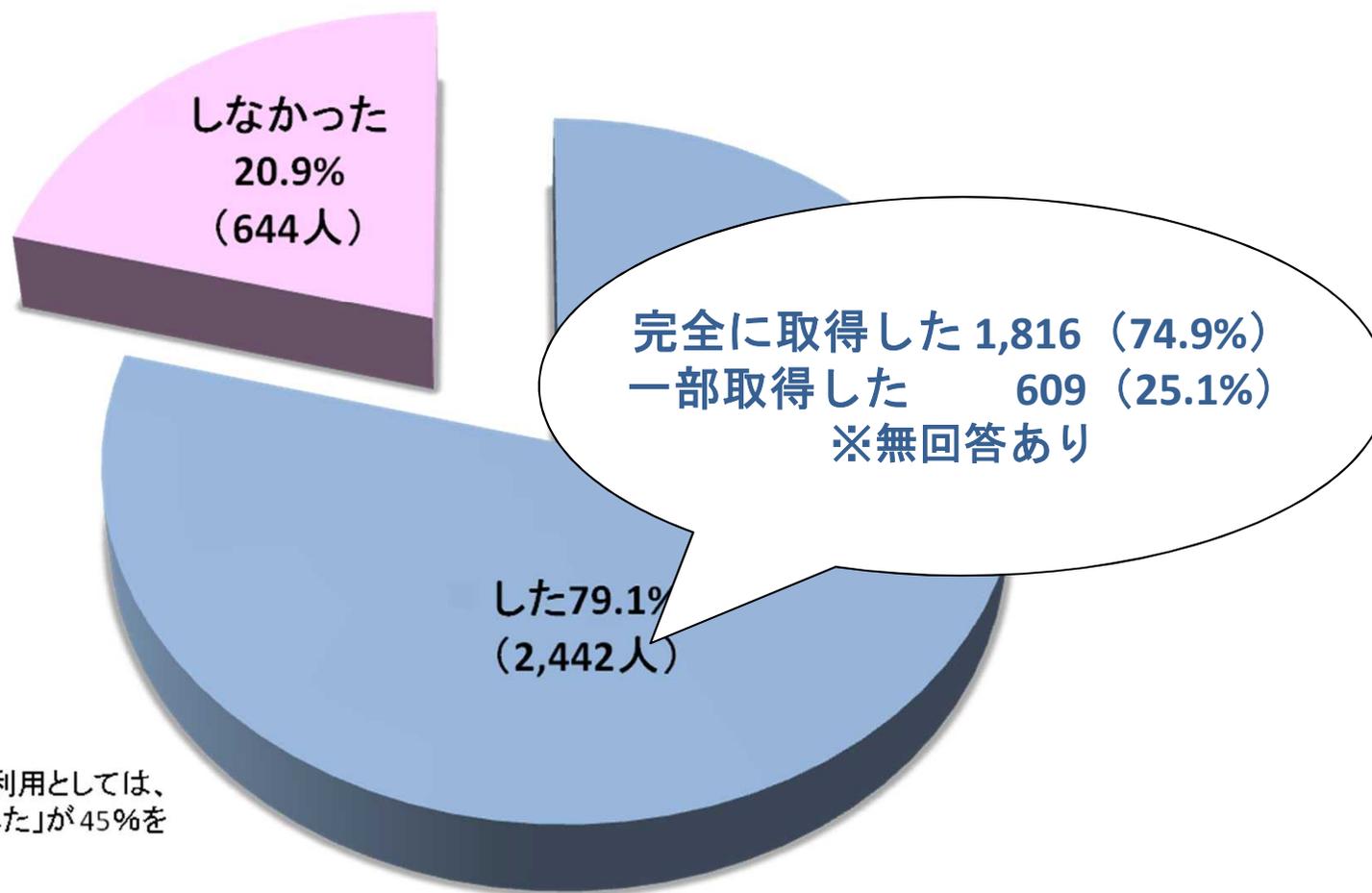
女性医師の休職・離職期間



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

I -3) 出産・育児休業の現状と問題点

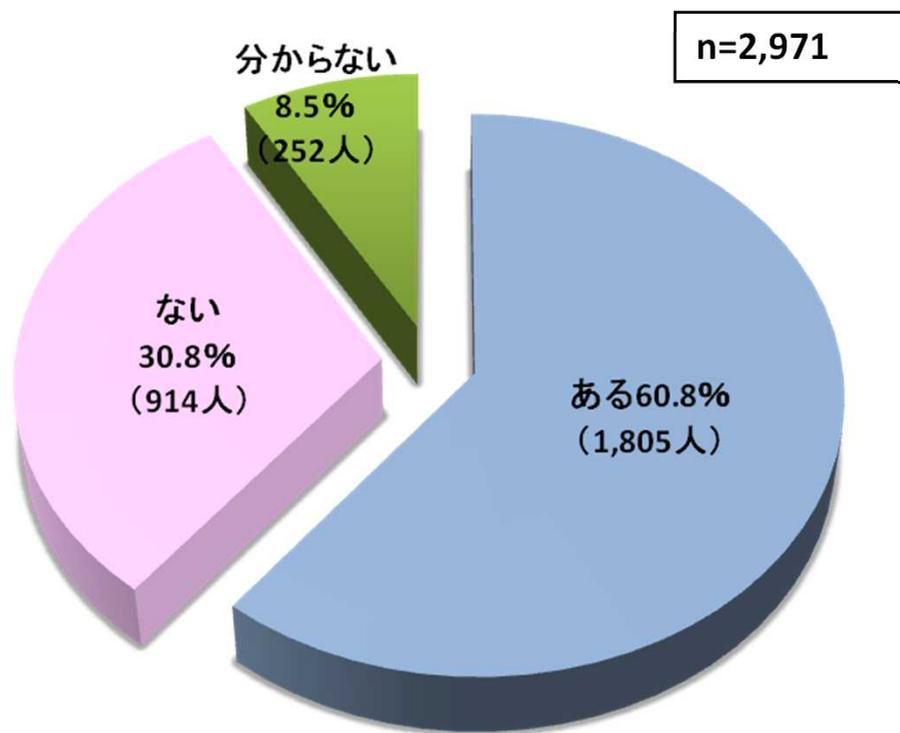
女性医師の産休取得状況



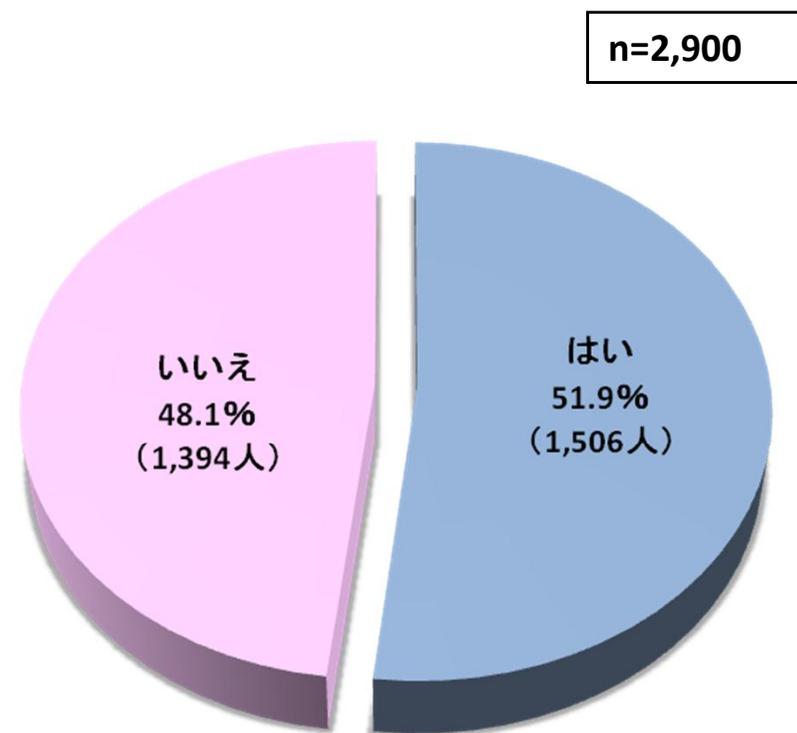
日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の産休中の身分保障・給与支給

産前・産後休暇中の身分保障



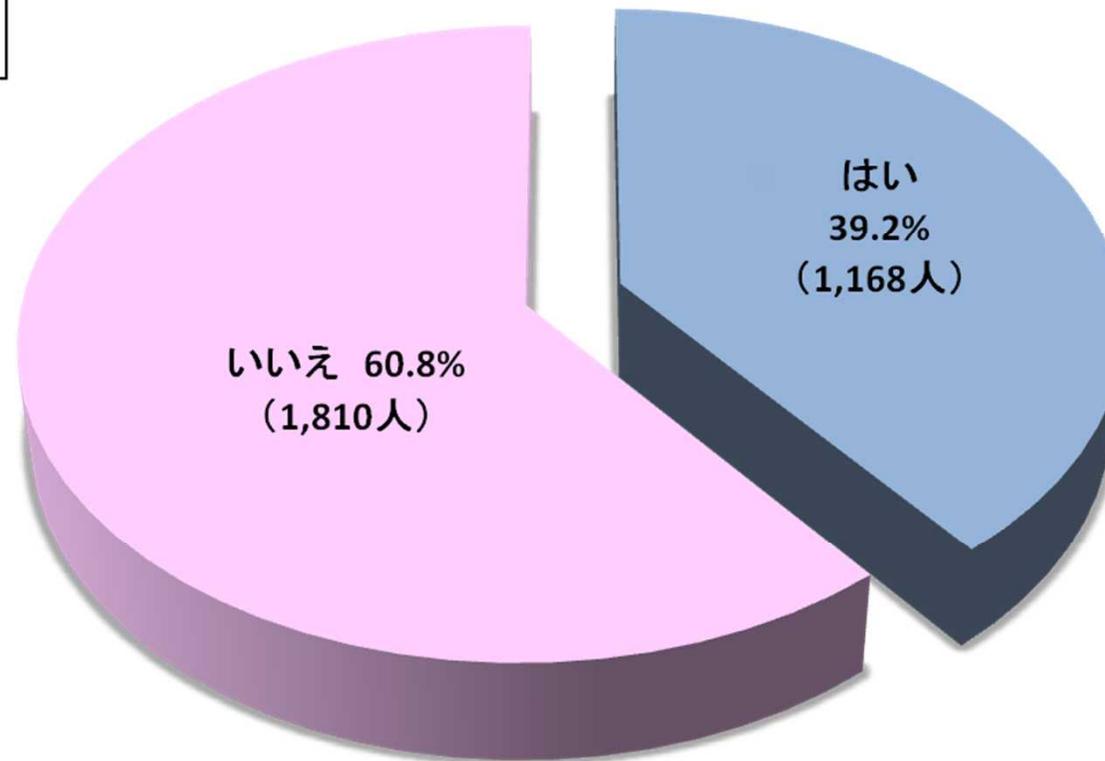
産前・産後休暇中の給与支給



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の育児休業取得状況

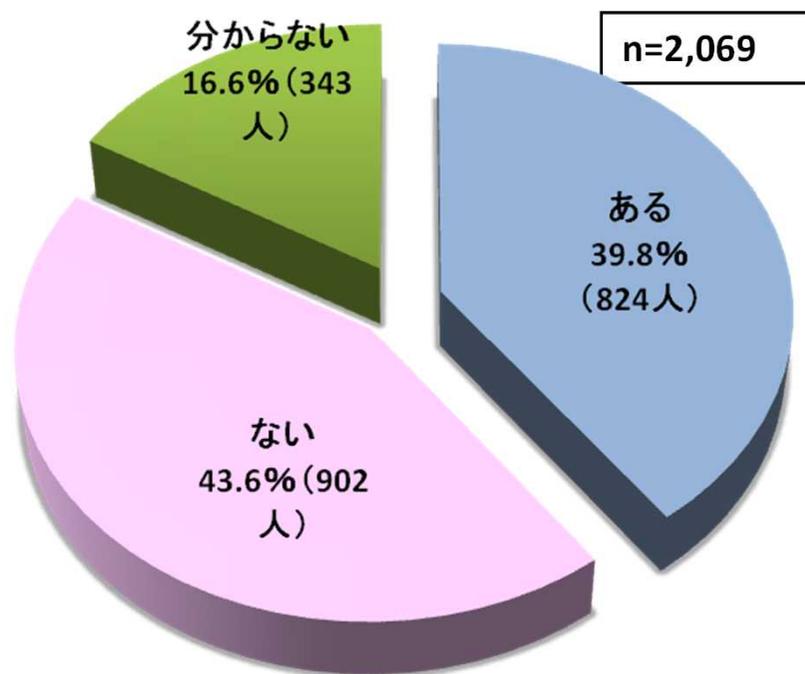
n=2,978



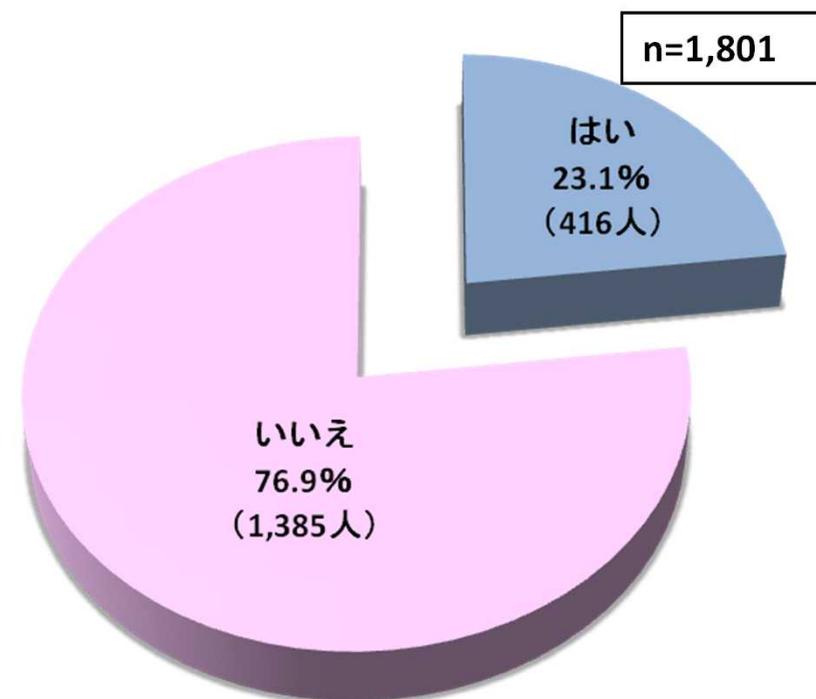
日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の育児休業中の身分保障・給与支給

育児休業中の身分保障

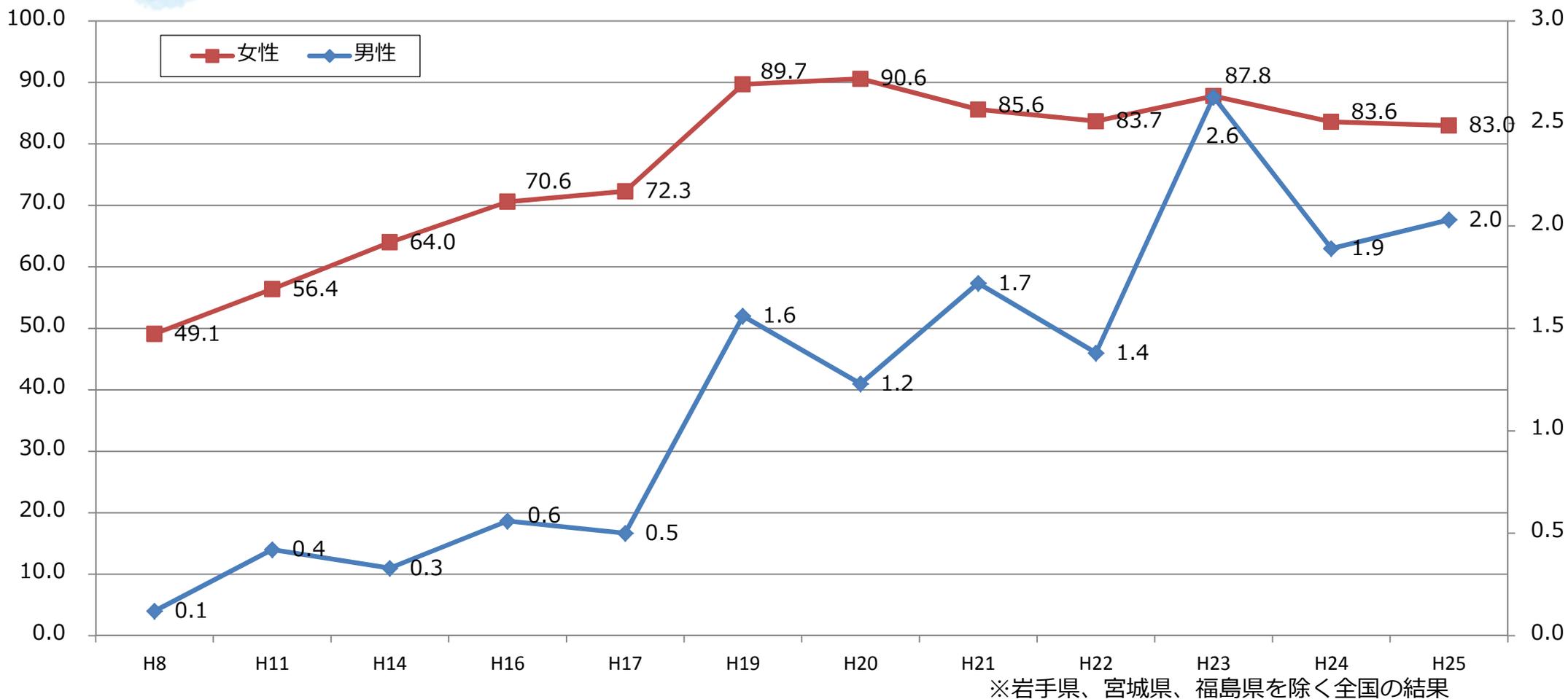


育児休業中の給与支給



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

育児休業取得率の推移（男女別）

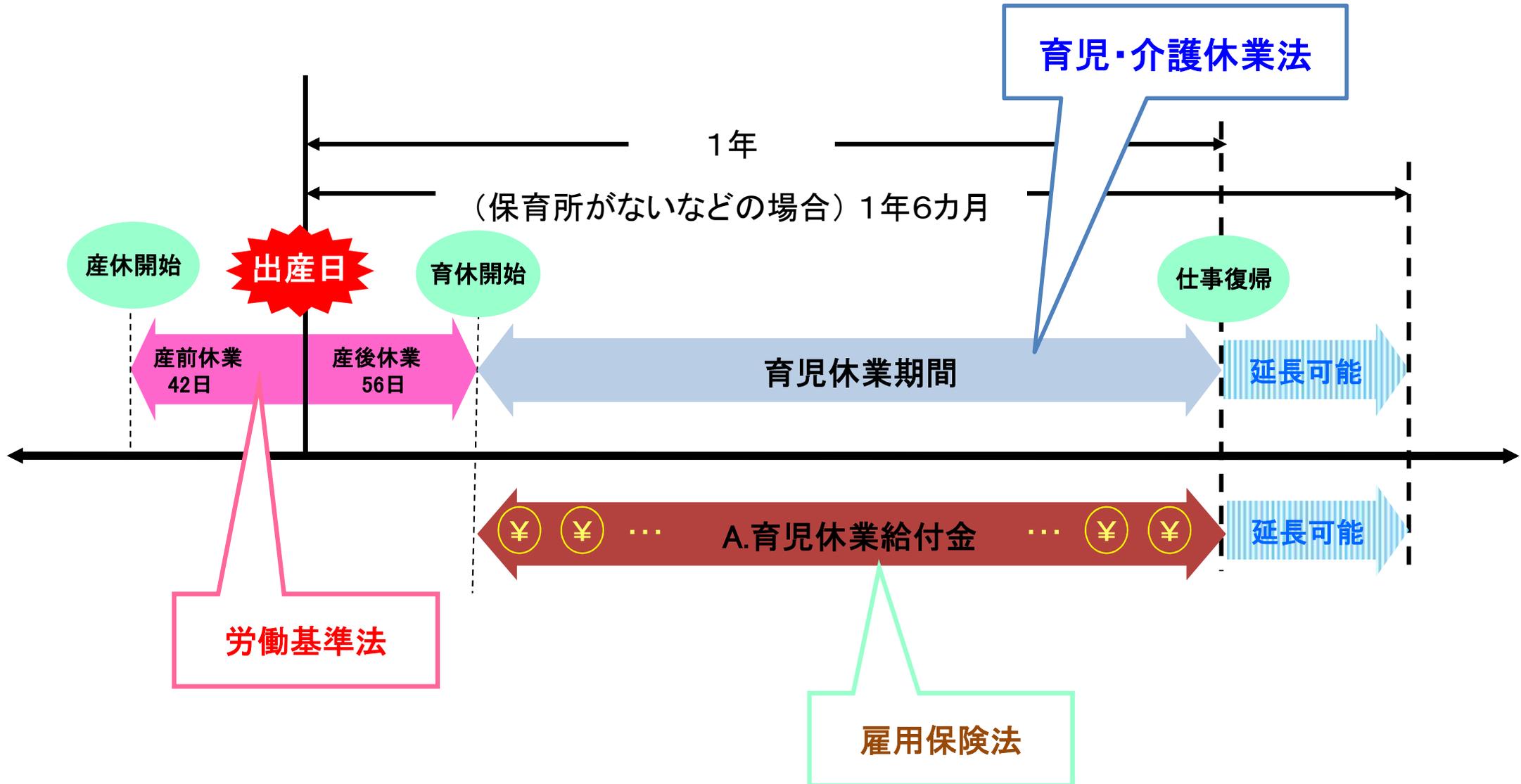


育児休業取得率 =

調査時点までに育児休業を開始した者(開始予定の申出をしている者を含む)

調査前年度 1 年間の出産者(男性の場合は配偶者が出産した者)の数

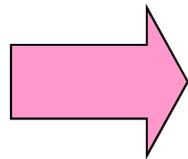
産前産後休業・育児休業について



女性医師の産休・育休での問題点

産前産後休業取得の不徹底

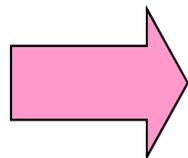
- ・約20%が休業・退職
- ・非常勤者に対しての制度不備



徹底取得への整備

低い育児休業取得率

- ・周囲の無理解
- ・本人の遠慮
- ・キャリアの中断



代替医師制度の整備

日医勤務医の労務管理に関する分析・改善ツール

7領域35問のチェックリストで現状把握・分析

- 1) 労働時間管理に関する勤務医への周知
- 2) 労働時間の適正把握
- 3) 労働時間・休憩・休日の取扱い
- 4) 時間外・休日労働協定(36協定)
- 5) 割増賃金
- 6) 勤務医の安全と健康の確保
- 7) 女性勤務医の就労支援

- ・ 男女雇用機会均等法による母性健康管理の措置
→ 妊産婦の時間外労働の制限、健康診査を受けるための時間の確保、不利益取扱いの禁止等
- ・ 労働基準法における母性保護規定
→ 産前産後休業、危険有害業務の就業制限等
- ・ 育児介護休業法における育児のための両立支援制度
→ 育児休業、短時間勤務制度、所定外労働の制限、子の看病休暇、不利益取扱いの禁止等

改善項目の選定

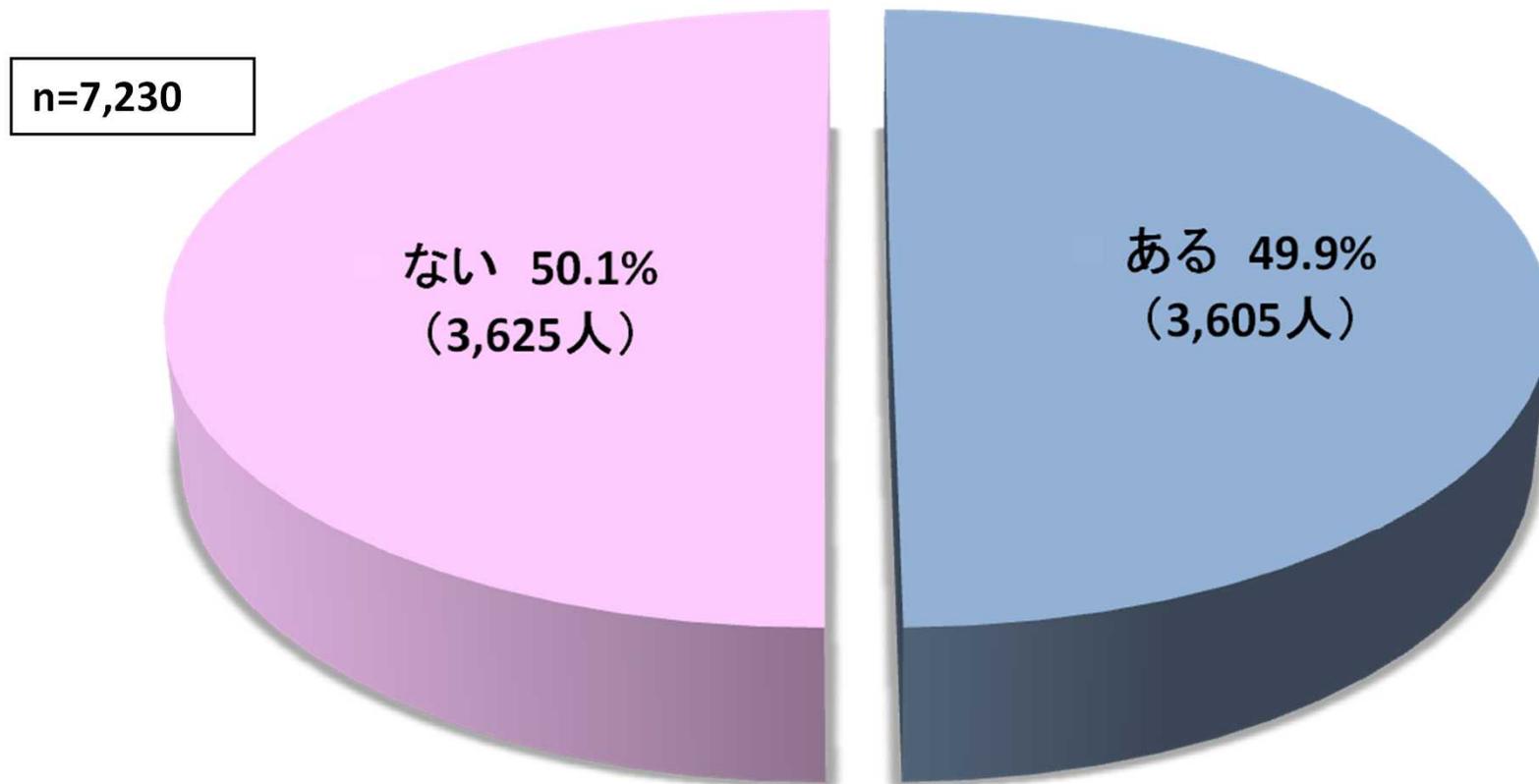
労働環境改善

I -4) 保育・託児施設の現状と問題点

保育所およびその他の保育サービスの概要

- 認可保育所
- 認定こども園
- 認可外保育所
 - 自治体認証保育所
 - 企業内保育施設(病院内保育所)
 - ベビーホテルなど
- 保育ママ制度
- ベビーシッター

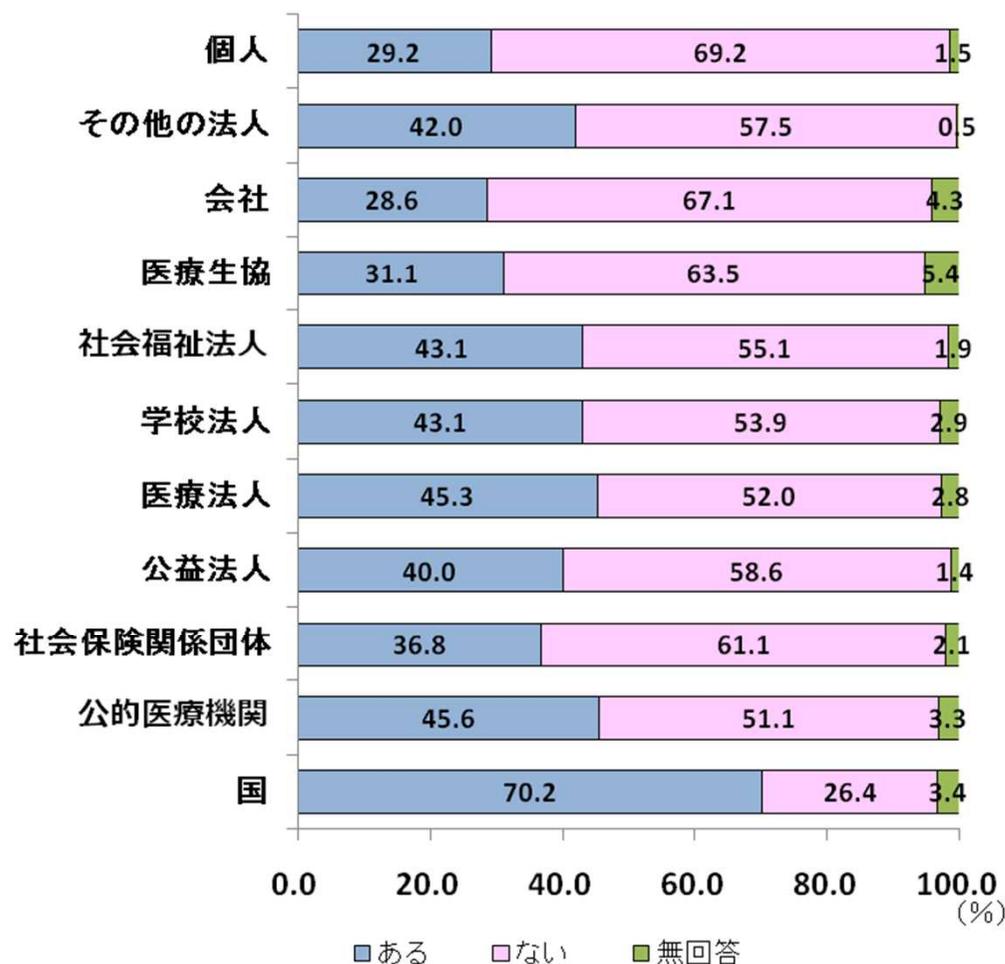
院内保育所・託児所の設置状況①



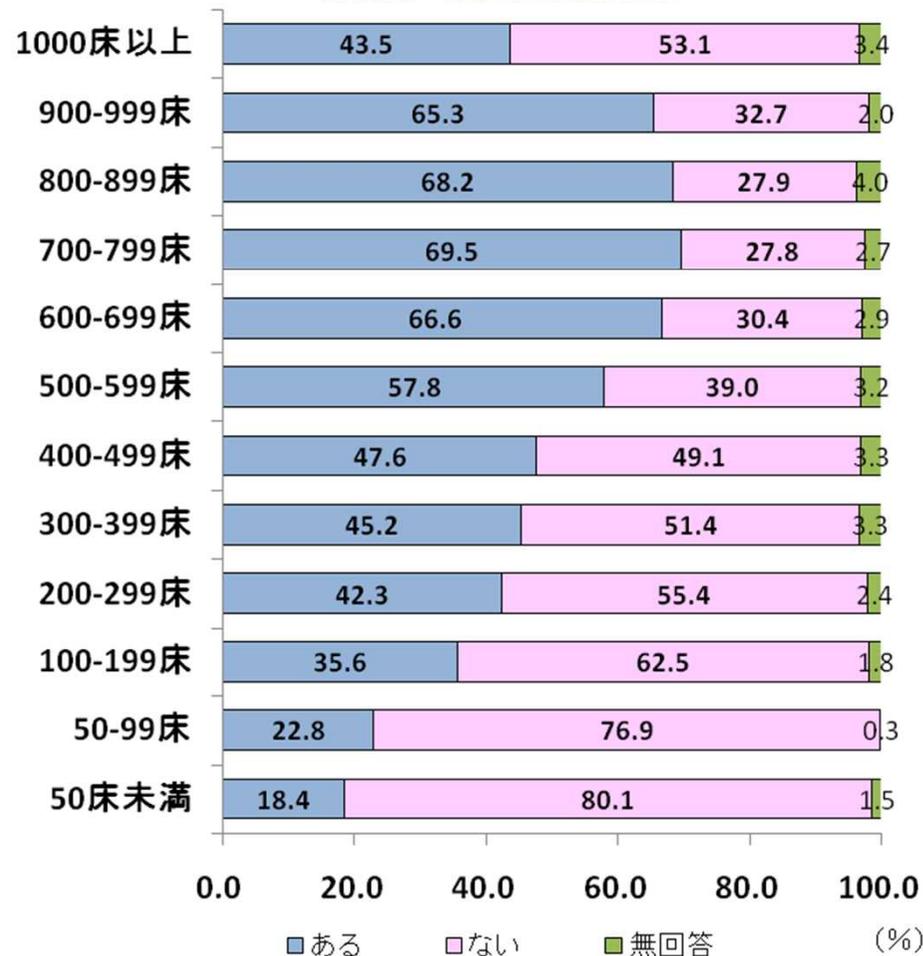
日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

院内保育所・託児所の設置状況②

病院 開設主体別

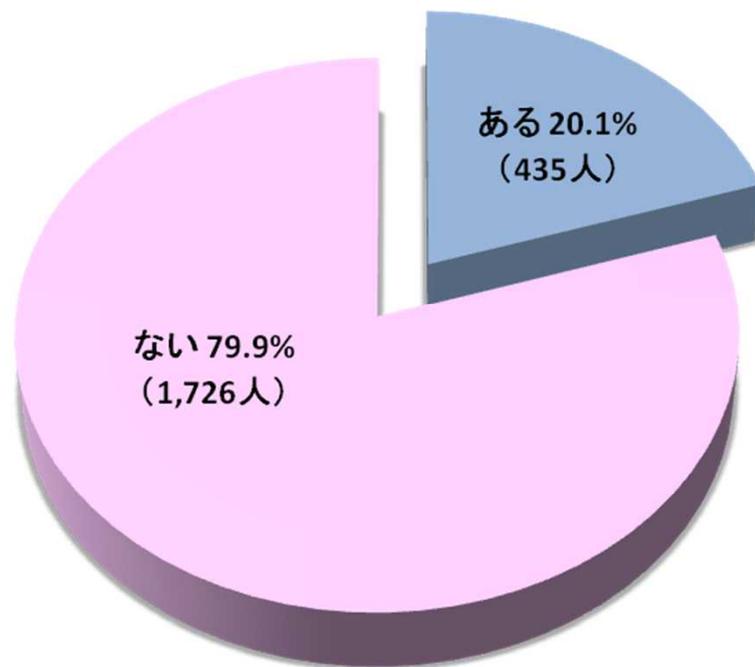


病院 病床規模別

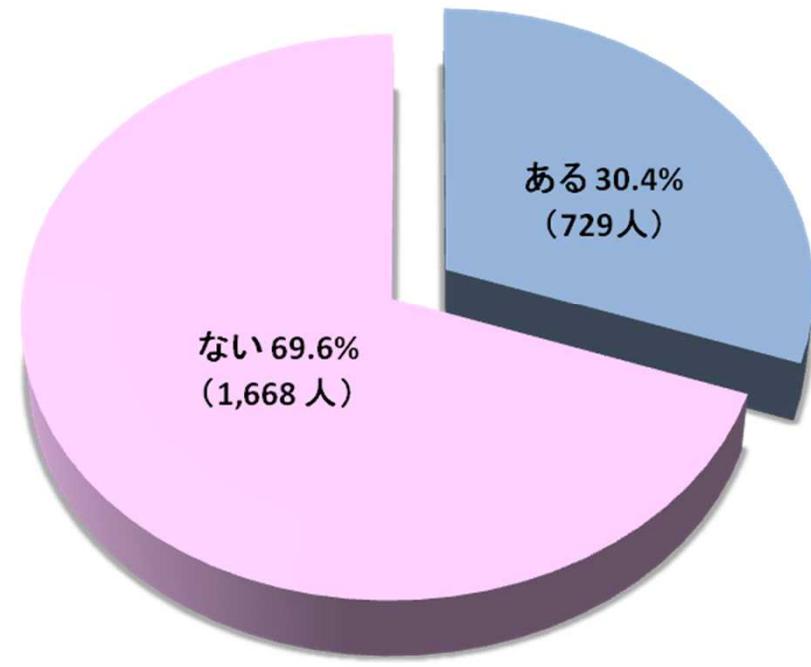


病児保育・24時間保育の実施状況

病児保育

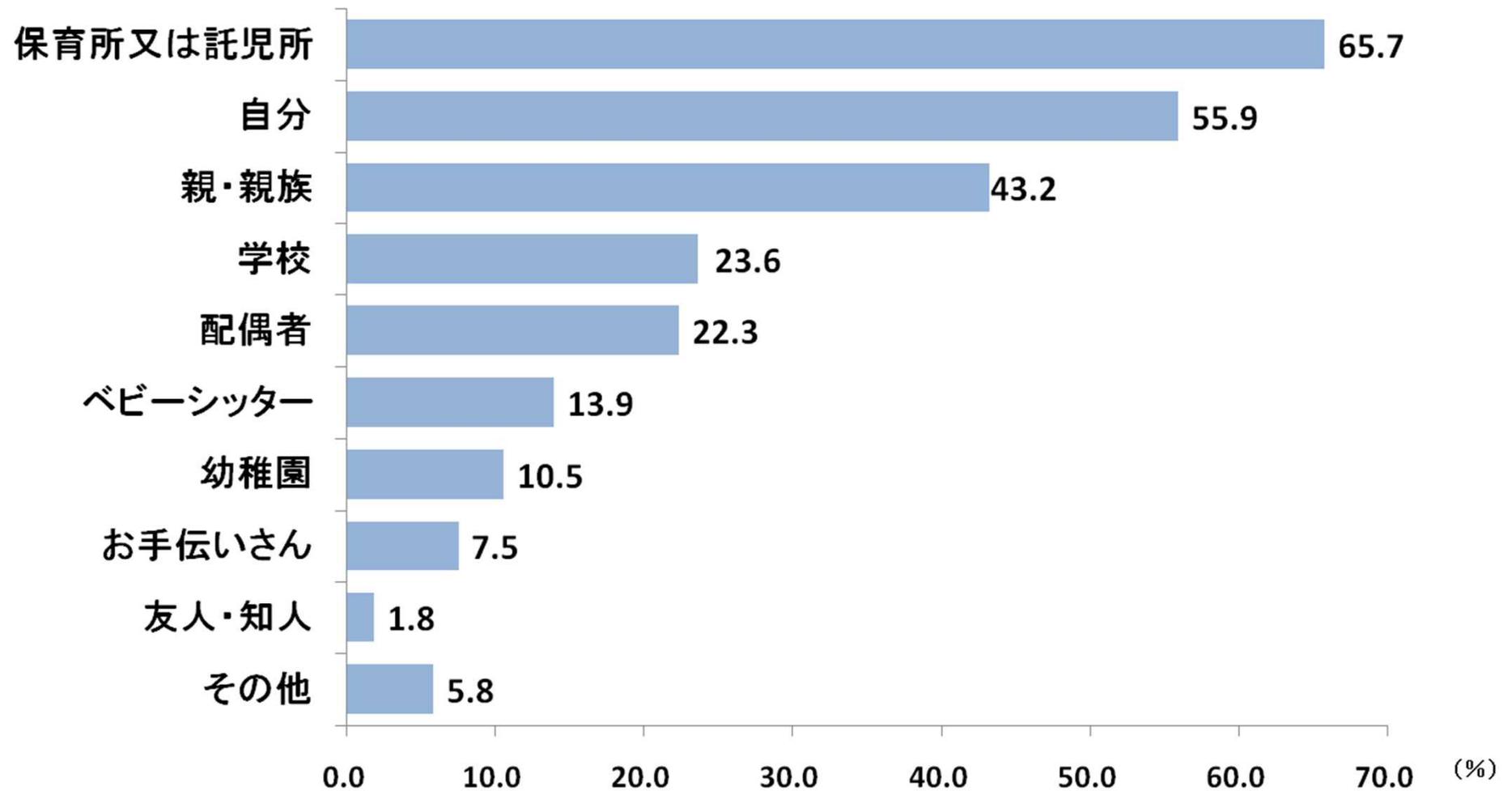


24時間保育



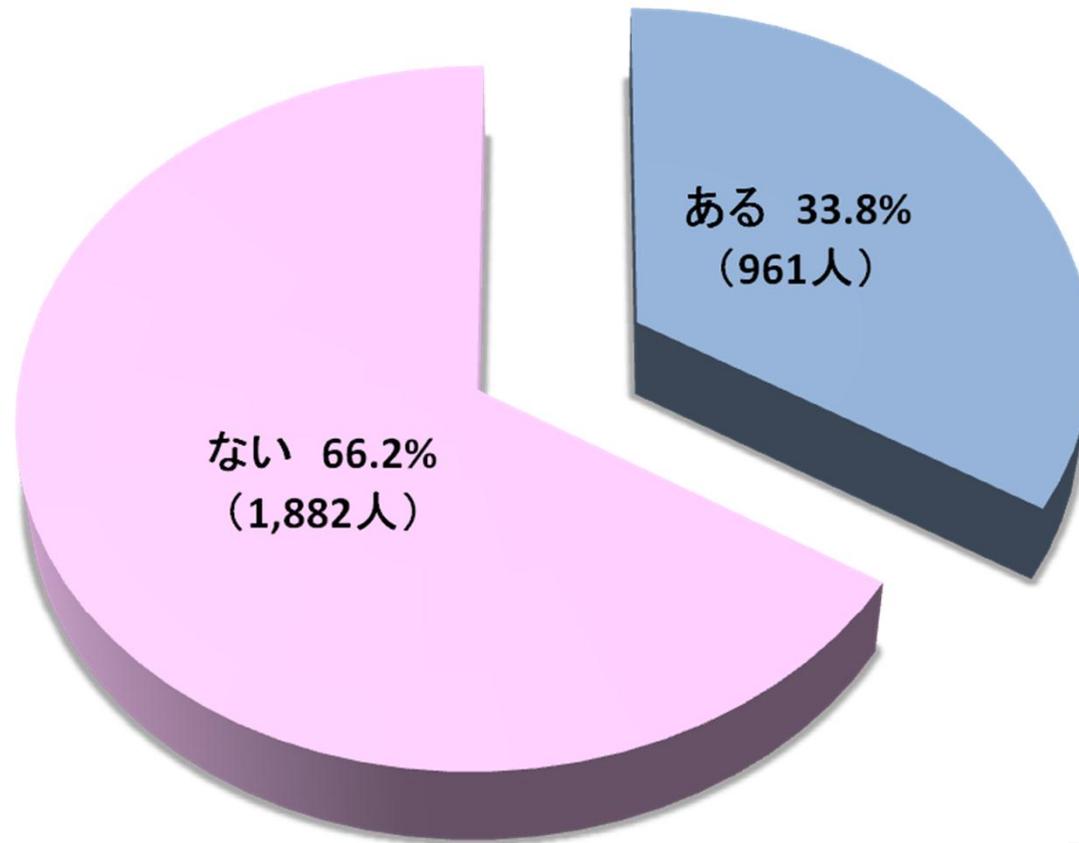
日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の子どもの保育の現状



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

院内保育施設の利用状況①

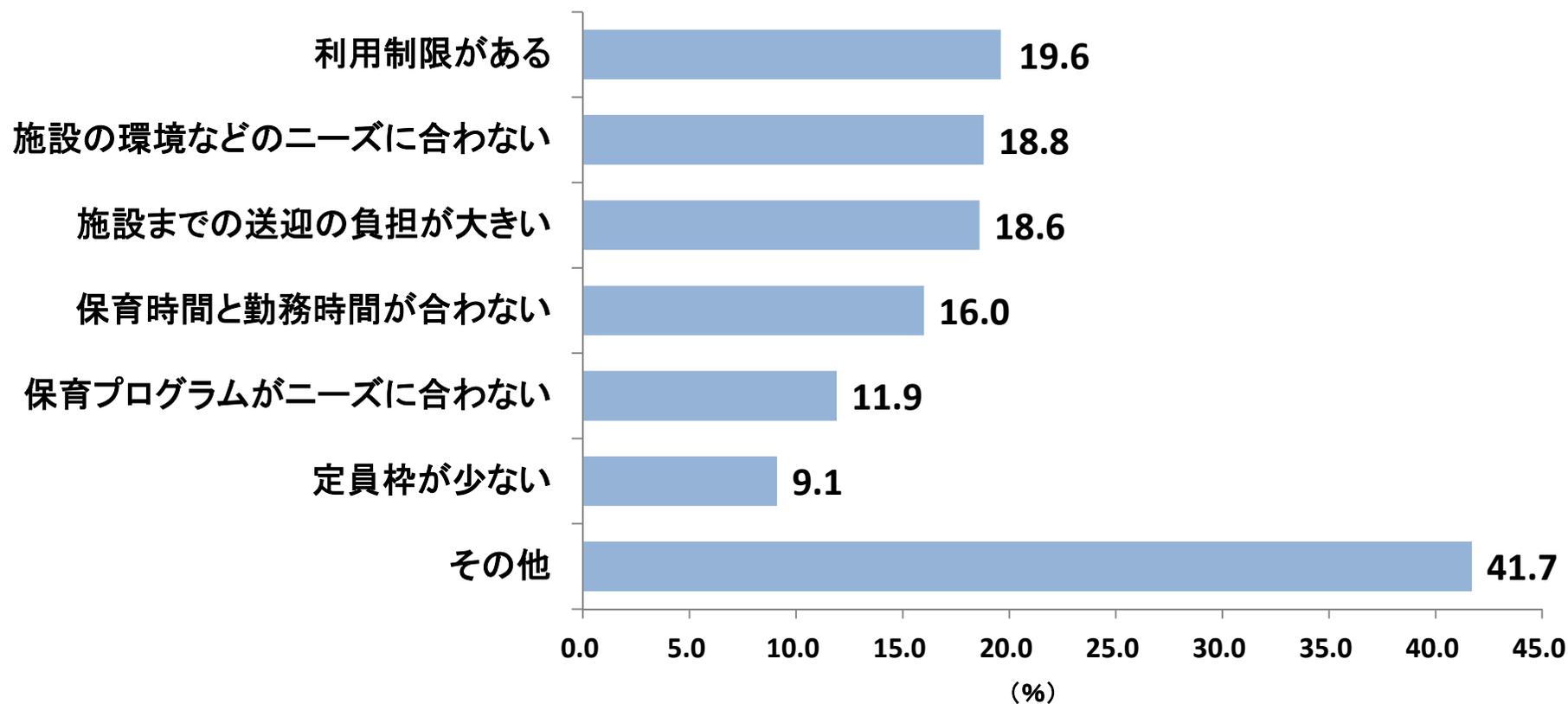


n=2,843

日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

院内保育施設の利用状況②

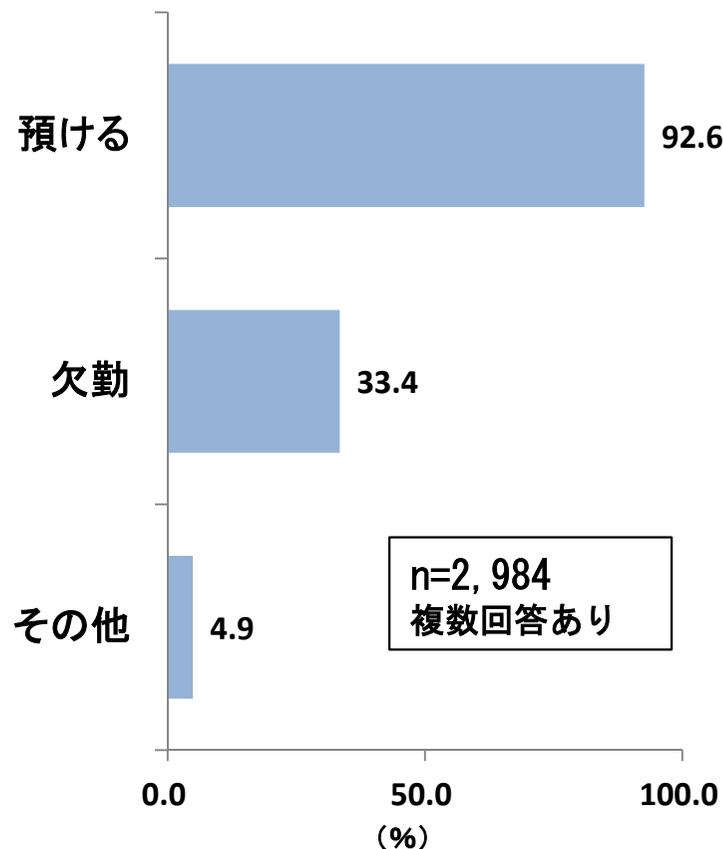
院内保育所を利用しない理由



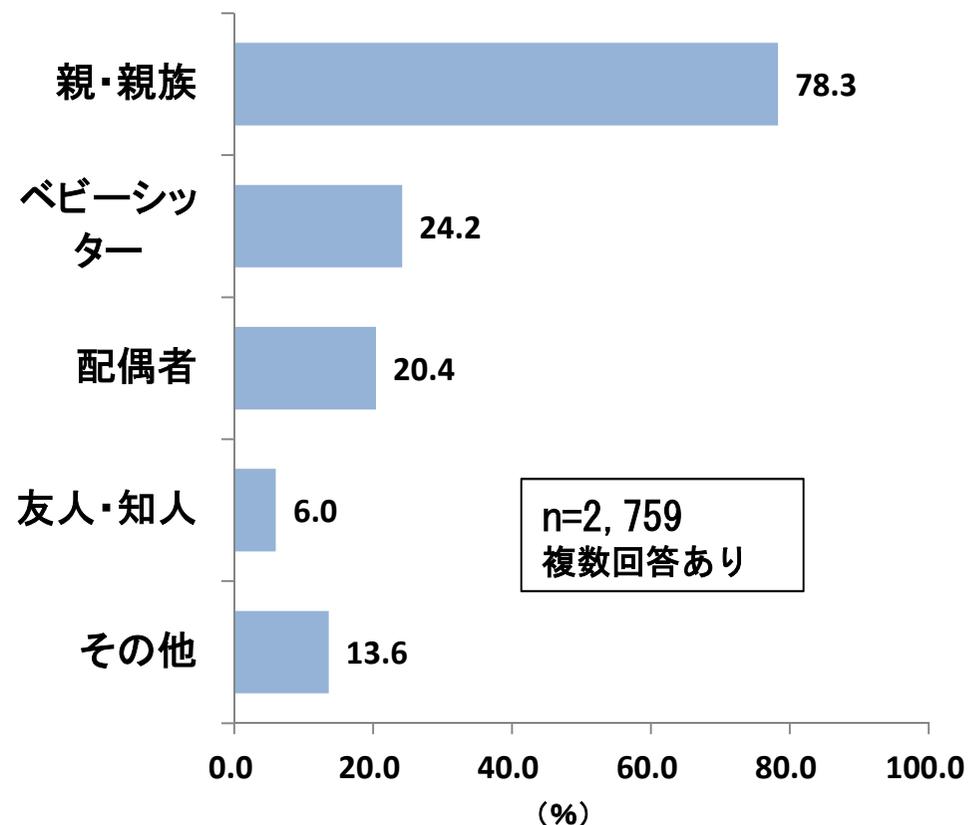
日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

子どもの病気や予定外の保育が必要な時の対応

病気や予定外の保育が必要な時



病気や予定外の保育が必要な時の預け先



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月



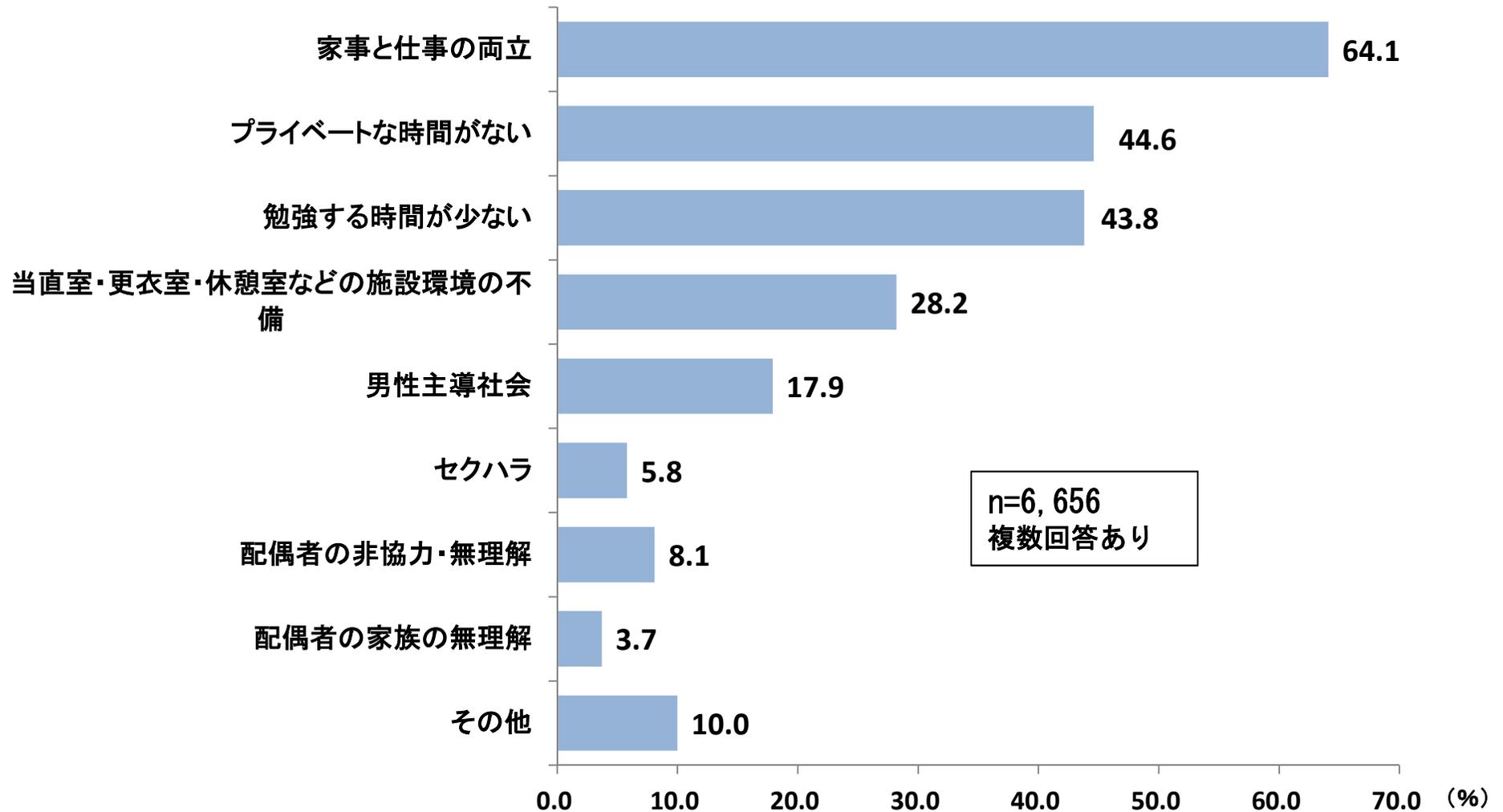
院内保育所の現況と問題点

- 設置率は49.9%
 - 就業支援策として院内保育所設置が最も有用、設置率の増が必要
 - 病院の費用負担が大であり、助成の充実が必要
- 非常勤医師の利用制限
 - 制限の撤廃が必要

Ⅱ．必要とされる女性医師勤務支援

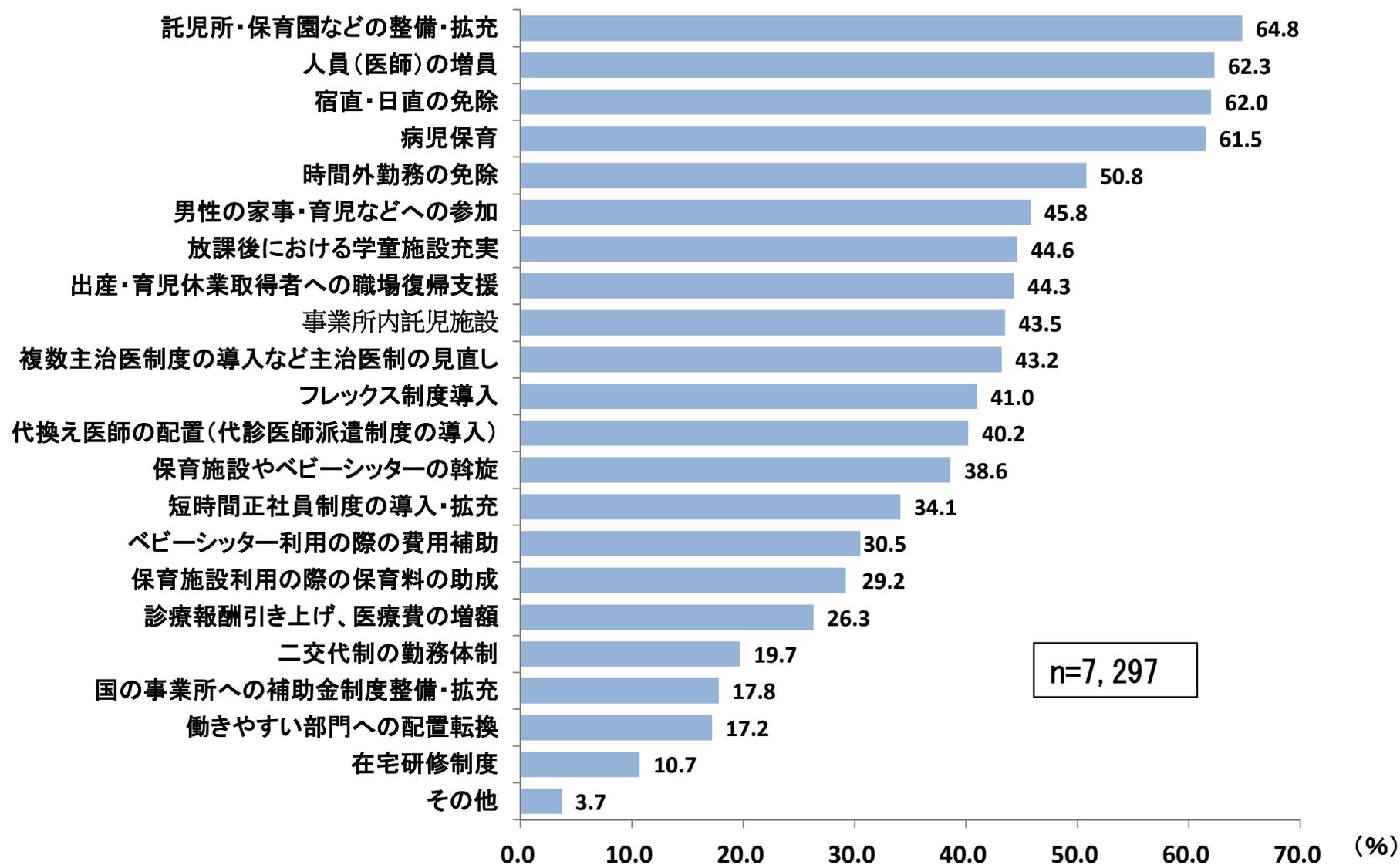
女性医師の職場環境

～女性医師としての悩み～



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月

女性医師の職場環境 ～仕事を続けるうえで必要な制度・支援～



日本医師会「女性医師の勤務環境の現況に関する調査報告書」平成21年3月



必要な女性医師の勤務支援

- 産前産後休業取得の徹底
- 育児休業取得の徹底と代替医師制度
- 保育・託児施設・病児保育室の整備
- 柔軟な勤務制度(短時間正社員制度など)
- 主治医制度の見直し(チーム医療やシフト制の導入)
- 上司・同僚などの理解と支援
- 再研修・再就業支援

現況調査からわかったこと

1. 実働勤務時間、宿日直回数、休日日数などから、多くの女性勤務医師が過酷な勤務環境にいる。
2. 勤務医全体の勤務環境が厳しいことや医師の勤務・労働に関して、法への十分な理解が無いこととともに、若い女性医師には、非正規雇用の立場の人が多く、出産・育児について、法の保護を十分に受けられていない。
3. 育児・家事について配偶者の協力は、配偶者が医師である場合には、非医師である場合より得られる割合が低い。
4. 多くの女性医師が求めているのは医師全体の勤務環境の改善であり、そのための医療への財政投入(それによる医師不足の解消)、勤務医の身分の確立である。
5. 多くの女性医師は出産・育児後も働き続けられる環境の整備、一時休業せざるを得なかった場合の復帰支援を求めている。
6. 出産・育児への支援策として、24時間・病児保育を併設した院内保育所の普及の他、様々な保育サービス利用に対する補助、及び学童保育の充実を求めている。
7. 多くの女性医師は方針決定に関わる立場・指導的立場に女性が少ないことに問題を感じ、男性中心の医療界の意識改革を希望している。

基本的に必要なこと

- 医師全体の勤務環境の改善
- 医療への適正な投資
- 指導的立場、意思決定機関への女性の参画

IV. 日本医師会女性医師支援センター事業

平成26年度女性医師支援センター事業 事業計画

1. 女性医師バンクによる就業継続、復帰支援（再研修を含む）
2. 医学生、研修医等をサポートするための会
3. 各都道府県女性医師相談窓口への支援
4. 「女性医師支援事業連絡協議会」の開催
5. 女性医師支援センター事業ブロック別会議の実施
6. 医師会主催の講習会等への託児サービス併設促進と補助
7. 「2020.30」推進懇話会の開催
8. 大学医学部・医学会の女性医師支援担当者連絡会の開催
9. 「女性医師の勤務環境整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」の実施
10. 学会総会等へのブース出展
11. 女性医師の就労環境の改善と健康支援
12. 女性医師の生涯を通してのキャリア形成支援

女性医師支援センターホームページ



平成23年7月29日開設

【主な内容】

- ◇ 支援情報
 - ・各種制度の紹介
 - ・女性医師バンクの事例紹介
 - ・活躍中の女性医師の紹介
- ◇ よくあるご質問
- ◇ 各地の女性医師相談窓口のホームページへのリンク 等

ホームページURL www.med.or.jp/joseiishi/

女性医師バンクホームページ



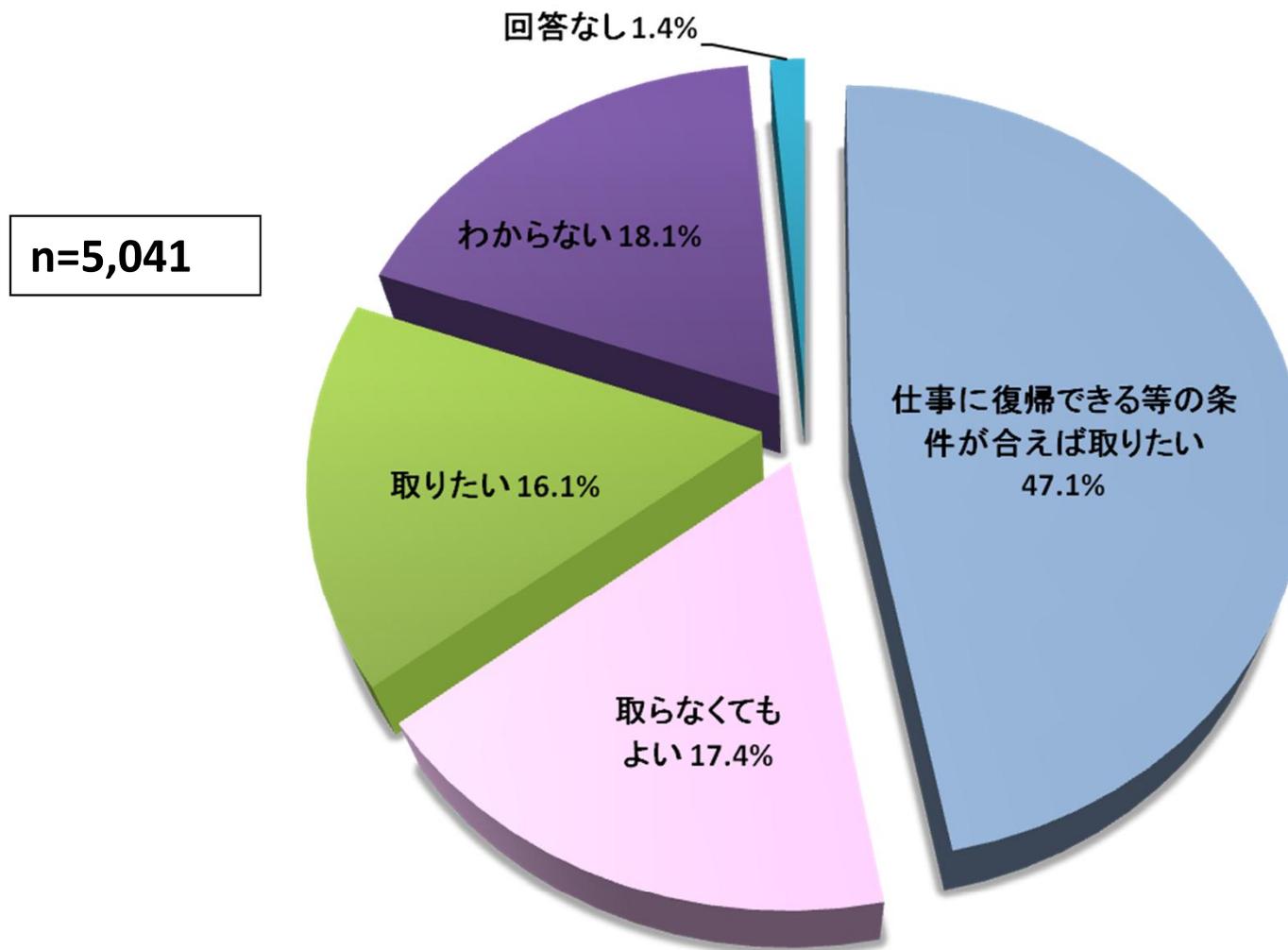
ホームページURL <https://www.jmawdbk.med.or.jp/>

V. 参考

臨床研修医に関するアンケート調査

厚労省 臨床研修に関するアンケート調査
平成24年 研修医アンケート調査 結果概要【追加】より
(平成22年度研修開始・23年度研修修了者7506名対象)

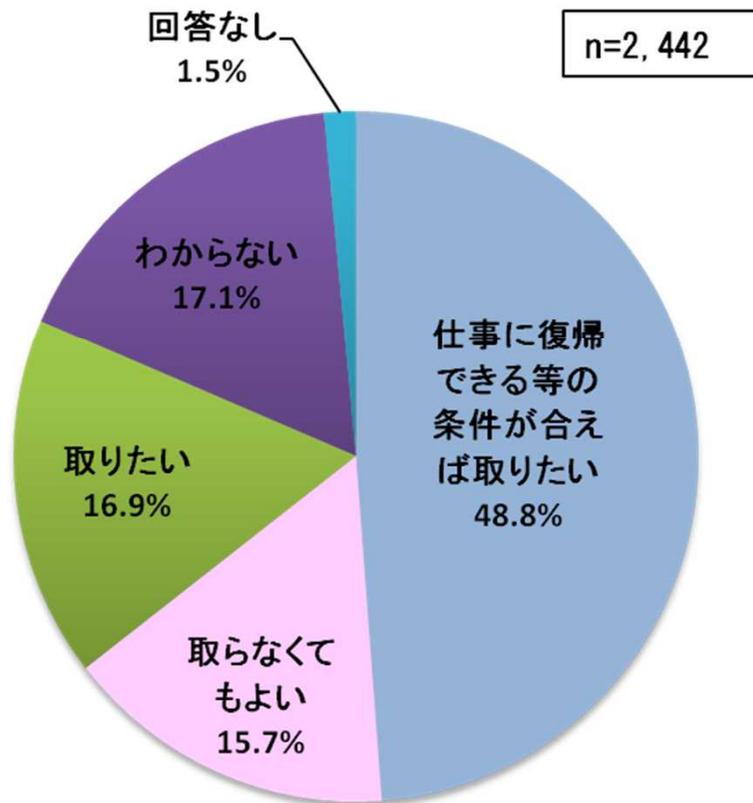
子どもができた場合の育児休暇の取得希望①



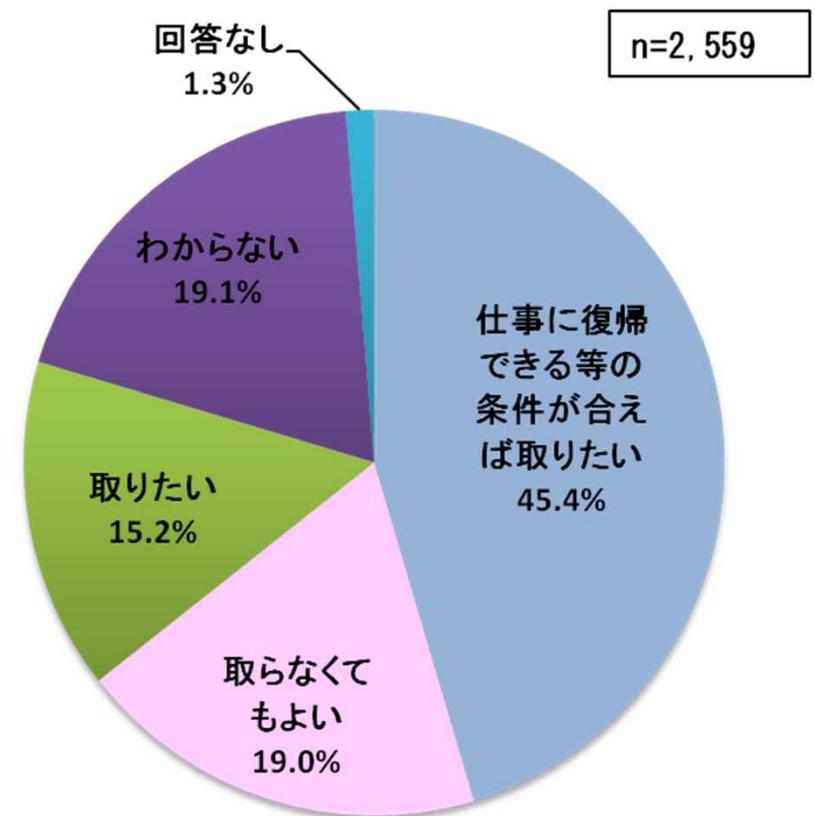
厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

子どもができた場合の育児休暇の取得希望②

大学病院



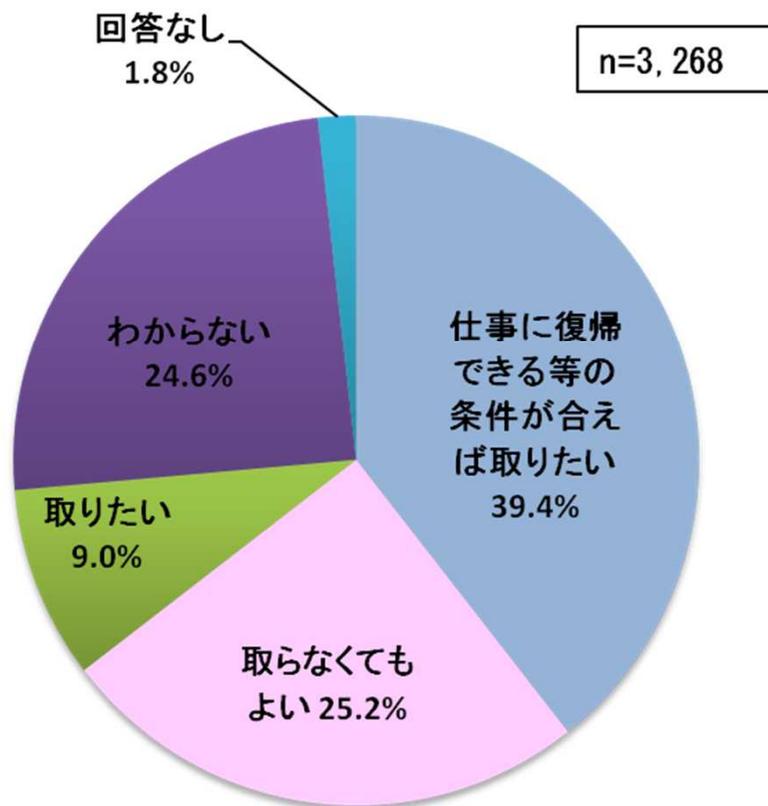
臨床研修病院



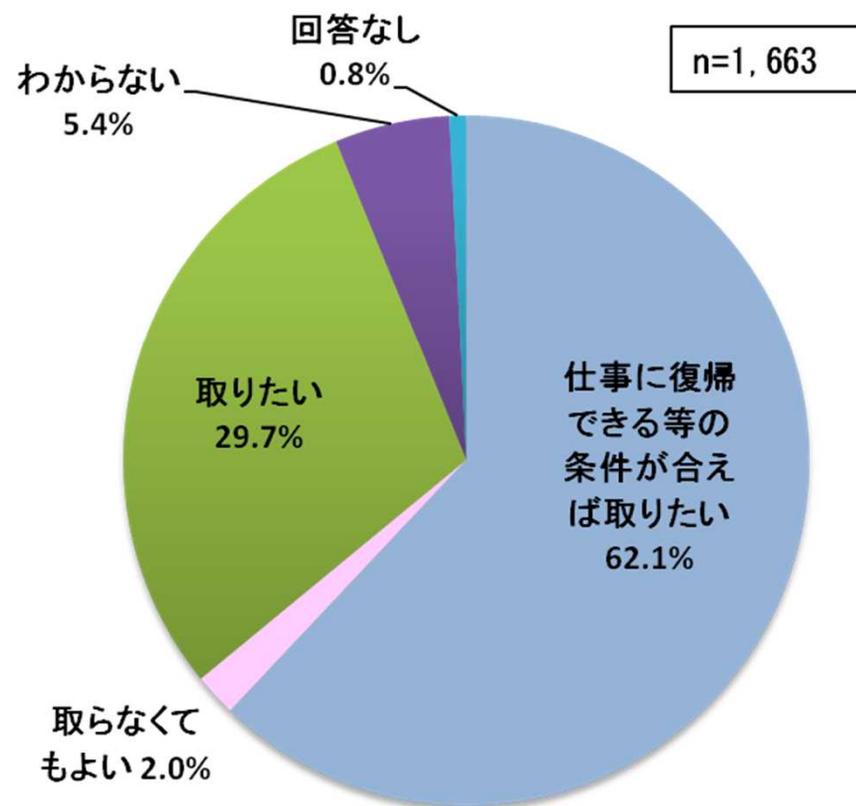
厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

子どもができた場合の育児休暇の取得希望③

男性



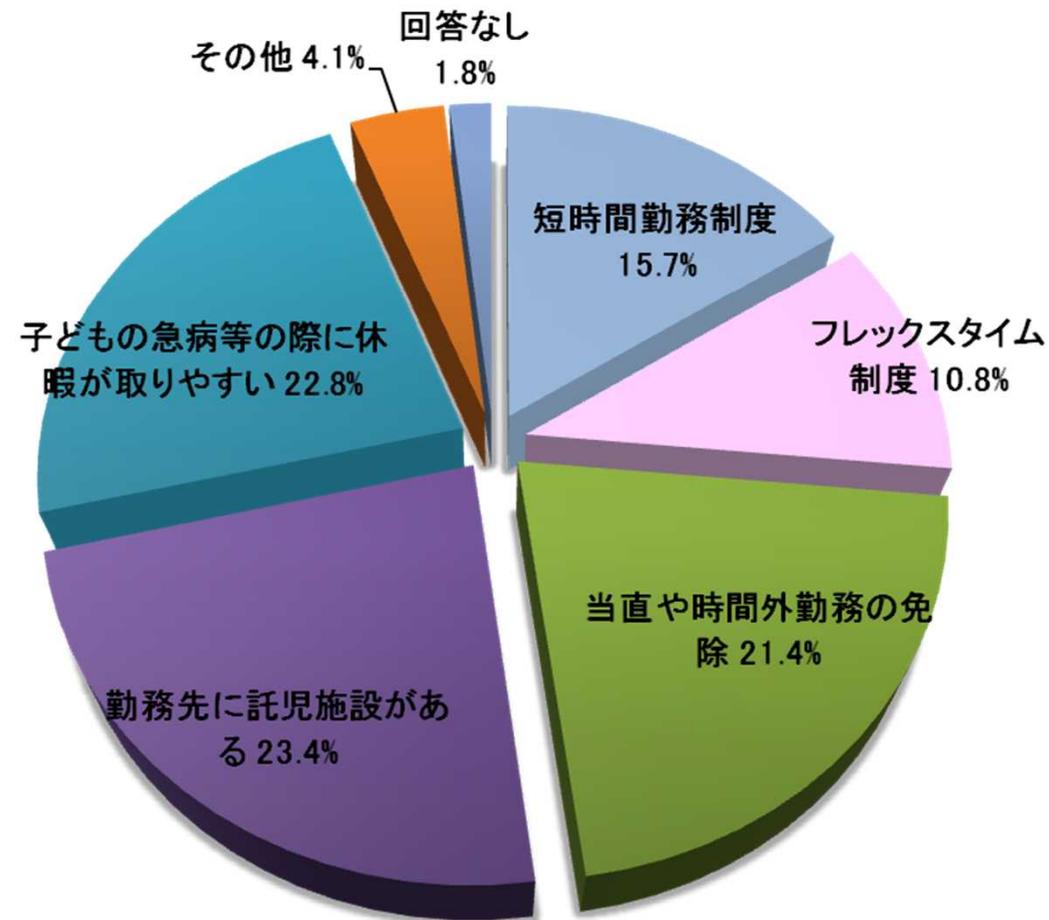
女性



厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

子育てをしながら勤務を続ける条件

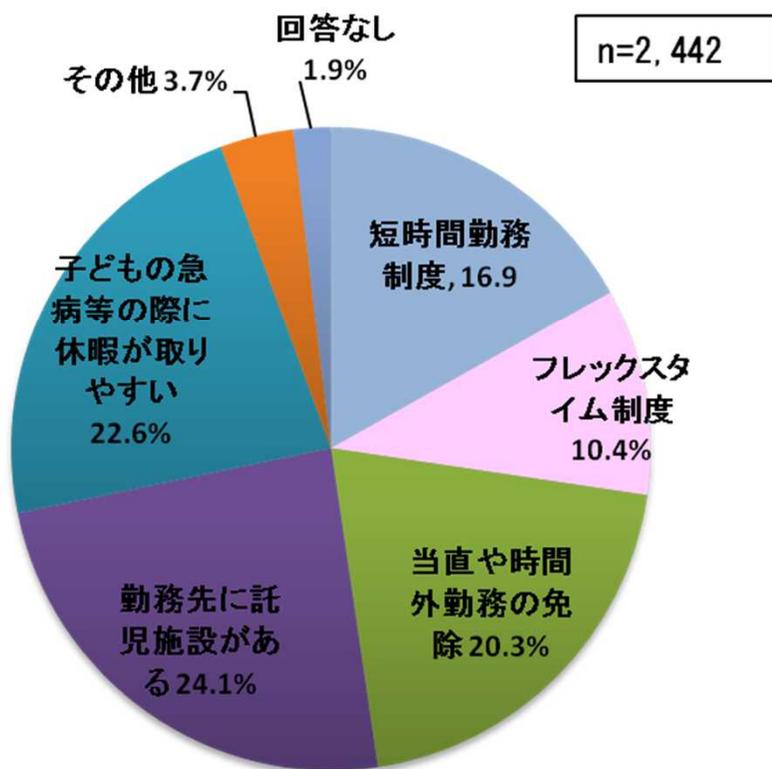
n=5,041



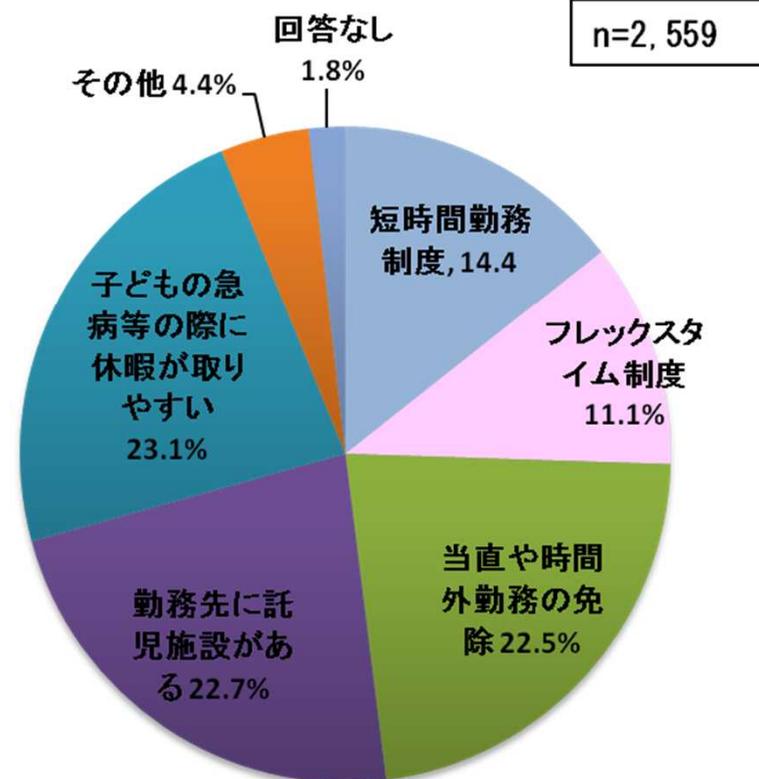
厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

子育てをしながら勤務を続ける条件

大学病院



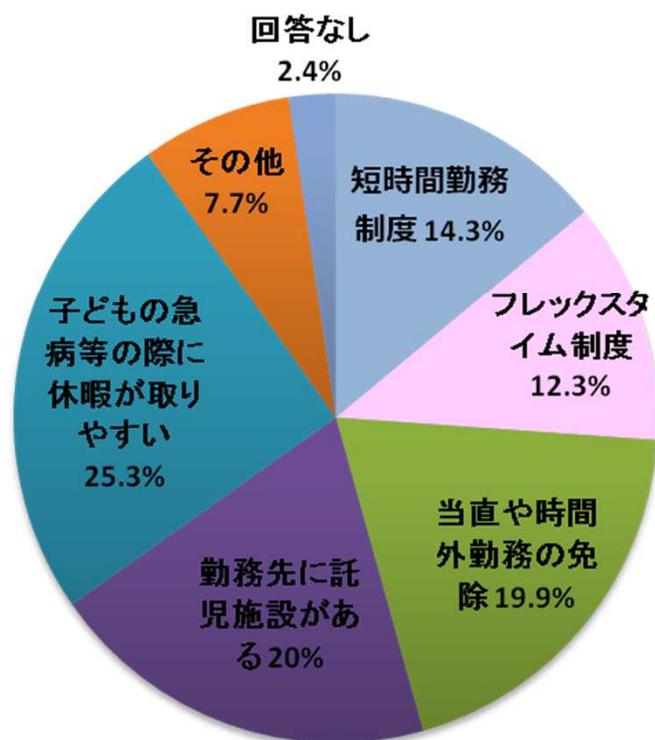
臨床研修病院



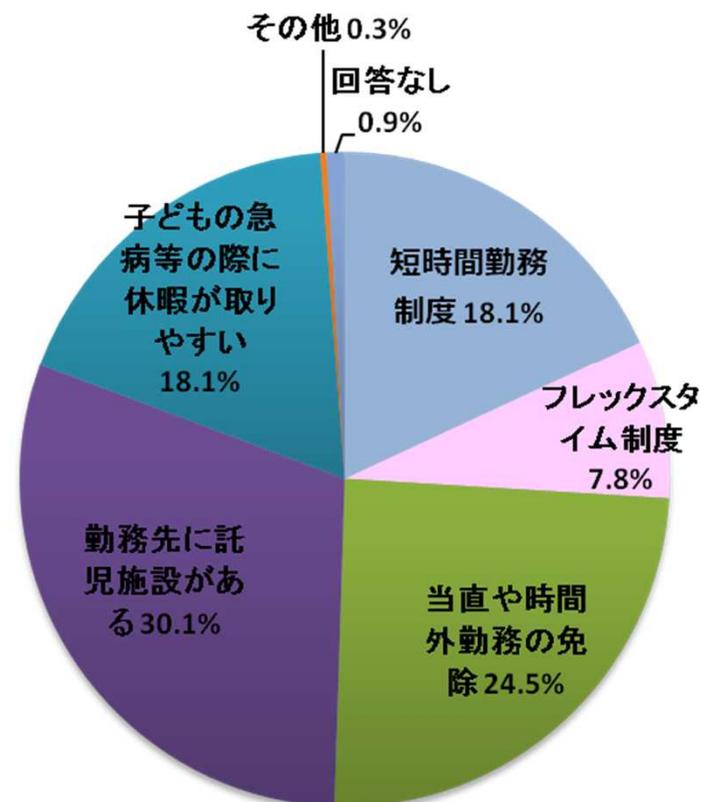
厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

子育てをしながら勤務を続ける条件

男性



女性



厚生労働省「研修医アンケート調査 結果概要（追加）」平成24年

女性医師支援の隘路

- 女性医師の活躍待ったなし
- 職場環境の現況と問題点
 - 出産 育児休業
 - 保育 託児施設
- 女性医師勤務支援
- 複数主治医 フレックス
 - 仕事継続環境整備 助成金
- 医療で社会に還元
- 女性医師の活躍なしでは現場はまわらない
- 配慮と職場融和
 - 現場の負担増
- あいまいルール
- 手厚い支援がキャリア形成を促すか
- 共同参画 社会の意識改革は誰がする

教授の提言

男女を問わず診療・研究・教育は義務
特別扱いしない

勤務体制は個別に相談

男女を問わずワークライフバランスに配慮
本人のありたい姿に近づけるキャリア支援
物理的、精神的支援を行う
支える男子医師を増やす



Women in Medicine

career and life management

Marjorie A. Bowman

女性医師に支援が必要であり、代価を支払うことをいとわない お互いを頼りあい分かち合い 与え 学び 助け合う

(女性)医師の仕事は自己を犠牲にして他者を支え、またそこから自分自身が多くのものである。女性医師を心から誇りに思い、その姿、そして見事にやり遂げているということに畏敬の念を感じる。

緊急対策の柱—「3本の矢」で推進

